

# EloView4 ユーザーガイド UM600758

<https://secure.eloview.com>

対象製品 OS	対応可能ソフトウェアバージョン
Android 7.1 AOSP	3.64.87 以上
Android 8 AOSP	4.64.80+a 以上
Android 8 GMS	4.64.114 以上
Android 10	5.000.029.0041+p 以上
Android 12	-
Android 14	-

備考)EloView3(以下 EV3) <https://manage.eloview.com> の場合はユーザーガイド UM600101 等を参照ください。

また、弊社 MDM(EloView)を使用しない場合のユーザーガイドは UM600704 を参照して下さい。

デフォルトの"Control Panel Password"が「1elo」になっている場合は、ハードウェアのコントロールパネルを表示できる場合があります。

その場合、パスワードを変更して下さい。

Admin password のデフォルトは「1elo」です。

注意) OS イメージは、Android のセキュリティに関する公開情報への対応や機能改善などのために定期的にアップデートされます。各デバイスの OS イメージを新しいバージョンにアップデートすることは可能ですが、古いバージョンに戻すことはできません。

使用するファイル名は、アルファベット及び数字のみご使用ください。

## Enterprise Device Management

### Take complete control of your Elo hardware.

EloView® provides users with added visibility and control of their devices. Users can monitor, manage and support Elo devices to help maximize the health, security, uptime and availability of their fleets.



#### Manage settings

Control time zone, volume, network configuration and device reset.

#### View content

Check the content deployed to each device by accessing the device interface screenshots in the EloView® portal.

#### Control interface

Choose the device interface features you want enabled or disabled.

本書のいかなる部分も、Elo Touch Solutions, Inc. の書面による事前の許可なく、いかなる形式・手段（電子的、磁気的、光学的、化学的、手動的、その他の手段を含む）によっても、複製、送信、複写、検索システムへの記録、またはいかなる言語あるいはコンピューター言語への変換も行うことはできません。

## 免責事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。 Elo Touch Solutions, Inc. およびその関係会社（「Elo」と総称します）は、本書の内容に関して何らの表明も保証もいたしません。特に、本製品の商品性および特定目的への適合性について、いかなる暗示的保証もいたしません。Elo は、他者に対する事前通知の義務を負うことなく、適宜、本書の内容を改定・変更する権利を有しています。

## 商標について

Elo (ロゴ)、Elo Touch Solutions、IntelliTouch、iTouch、EloViewは、Elo およびその関連会社の登録商標です。Windows は、Microsoft Corporation の商標です。Google、Google Chrome、Google Play、Googleマップ、Androidは、Google LLCの商標です。Firefoxは、米国 Mozilla Foundationの登録商標です。TeamViewerは、TeamViewer GmbHの登録商標です。

## EloView4について

EloView4とは弊社の親会社であるElo Touch Solutionsが、行っているMDM(Mobile Device Management)の最新版です。EloView4を用いると、以下の概要の項目などを容易に行うことができます。以下にアクセスして、使用する場合は、アカウント申請をして使用して下さい。 <https://secure.eloview.com>

## EloView4の概要

- 1) アカウント管理
  - a) 複数人での管理(権限を付与したユーザー追加が可能)
  - b) サブアカウントでの管理(エンドユーザー毎の対応)
- 2) デバイス管理

備考)1 アカウントで管理できるデバイス数のデフォルトは 10 台です。弊社に依頼いただくと最大 100, 000 台に変更できます。

- a) 登録管理(csv ファイルによる一括登録)
- b) WiFi 設定(csv ファイルによる事前登録)
- c) 輝度、音量設定等
- d) リブート
- e) ナビゲーションバー表示/非表示管理
- f) グループ管理 備考)1 グループで管理可能な台数は 15,000 台です。
- g) デバイス情報出力(csv ファイル)

- 3) コンテンツデリバリー

備考)登録できるコンテンツの容量は最大 2GB で、1 アカウントで登録できる最大コンテンツ数は 370 です。

- a) APK
- b) Web アプリ
- c) 静止画(jpeg,png, pdf)及び動画 mp4 備考)複数の静止画はスライドショー表示になります。
- 4) OS の管理(image のアップデート)
- 5) コンテンツ起動のスケジューリング(メインアプリ以外のコンテンツ)
- 6) メインコンテンツ配信の時間指定
- 7) スクリーンセーバーのような設定が可能 (Attract loop)
- 8) メインアプリとは別のアプリ(音声や通信など)をバックグラウンドで動作させることができます(Bundle)
- 9) TeamViewer の利用 備考)TeamViewer のライセンスは別途必要です。

但し、現在、本MDMは、日本語対応しておりません。また、インターネットエクスプローラーには対応しておりませんので、Google ChromeやMozilla FirefoxなどのWebブラウザソフトを使用して下さい。

不明な場合、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

タッチパネル・システムズ サポートセンター

電話番号:03-5464-5835、FAX番号:03-5464-5478

e-mail:[tpstech@tps-support.com](mailto:tpstech@tps-support.com)

受付時間:月曜日～金曜日(但し、弊社指定休日は除く) 9:00～12:00、13:00～17:00

注意事項)EloView や本体表示内容は、アップデートされ、本説明書と異なる場合があります。

説明図の配置は、製品や状況によって横長で表示される場合があります。

## 目次

1.	EloView4 アカウント取得.....	6
1.1	EloView4 アカウントの作成及びログイン.....	6
1.2	サブアカウント(Sub account).....	9
1.3	OrgID 確認.....	11
1.4	EloView 開発者向け情報.....	12
1.5	https://www.elotouch.com/eloview への掲載情報 .....	12
1.6	EV3 との違い .....	12
2.	アカウント設定(Accounts) .....	13
2.1	「Time Zone」の設定.....	14
2.2	言語設定(Language) .....	15
2.3	「Branding」(デバイスの”Elo Home”画面のカスタム化) .....	16
2.4	「Customize」(EloView 画面のカスタム化).....	17
2.5	「Control Panel Password」の確認.....	17
2.6	ユーザーインバイト及びデリート .....	18
2.6.1	ユーザーインバイト .....	18
2.6.2	ユーザーデリート .....	20
2.7	WiFi 設定(DFS 設定) .....	21
3.	デバイス関係(Devices) .....	22
3.1	デバイス登録 .....	22
3.1.1	csv ファイルを使用しての一括登録 .....	23
3.2	デバイス削除 .....	24
3.3	「Settings」 .....	25
3.3.1	「Brightness」、「Volume」 .....	26
3.3.2	「Display Timer」 .....	26
3.3.3	Navigation Bar 表示や Power button の有効/無効選択等の設定 .....	26

3.3.4 「Orientation」 .....	26
3.3.5 WiFi 設定 .....	27
3.3.6 Reboot 手動実行 .....	30
3.3.7 MIC 有効化設定 .....	30
3.3.8 Whitelist 設定 .....	30
3.3.9 表示画面の確認(スクリーンショット) .....	31
3.4 OS のアップデート .....	32
3.5 Reboot Timer .....	33
3.6 グループ管理/フィルター管理/タグ管理 .....	35
3.6.1 グループ登録 .....	35
3.6.2 Gr 管理での各種設定 .....	37
3.6.3 Filter による管理 .....	39
3.6.4 Tag による管理 .....	39
3.7 登録 Device 情報一括出力 .....	41
3.7.1 Device 情報のファイル出力 .....	41
4. コンテンツ関係(Content) .....	42
4.1 アプリケーション/コンテンツのアップロード .....	42
4.1.1 単独コンテンツのアップロード .....	42
4.1.2 Attract の登録 .....	47
4.1.3 Bundle の登録 .....	51
4.2 アプリケーション/コンテンツのアンインストール(削除) .....	54
4.2.1 EloView からの削除 .....	54
4.2.2 デバイスからの削除 .....	55
4.3 アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除 .....	56
4.3.1 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール .....	56
4.3.2 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツの削除 .....	59
4.3.3 “Multi App” モードでの”Elo Home”画面へのアプリアイコン表示(インストール) .....	60

4.4	Web アプリの設定変更 .....	62
5.	アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule) .....	65
5.1	アプリケーション動作スケジュールの作成 .....	65
5.2	アプリケーション動作スケジュールの削除 .....	67
6.	ネットワーク要件 .....	68
7.	TeamViewer の使用 .....	69
8.	PoE アダプタ使用時の対応 .....	70

## 1. EloView4 アカウント取得

備考)EV3 のアカウントを取得済のユーザーは、移行手続きが行われたあと、EloView4 でご使用いただけますので、EloView4 で新規アカウントを取得する必要はありません。

**注意)EV3 のアカウントを取得済のユーザーが、トライアルで、EloView4 のアカウントを取得する場合、EV3 で使用した Email アドレスは使用しないでください。 EV3 から、EloView4 に移行する場合に、不具合が発生します。**

### 1.1 EloView4 アカウントの作成及びログイン

注意)ページ構成は変更になっている場合があります。

弊社からの返信などは、直後に自動的に届くわけではありませんが、45 日間のトライアルはすぐにご利用になります。

**既にトライアルに登録済みで本登録を急ぎの場合は、弊社サポートセンターに使用する Email アドレス情報を含め、お知らせください。本登録には事前にトライアルでの登録が必要です。**

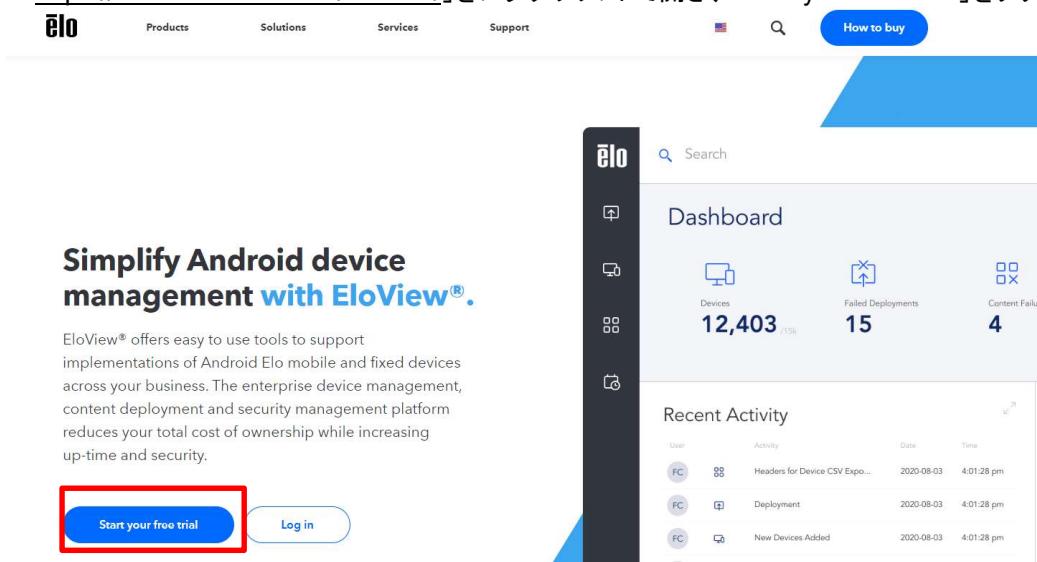
登録するEmail アドレスには Gmail などは使用せず、会社のドメインを使用してください。承認されない場合があります。

EloView アカウント取得直後、管理できる最大デバイス数は 10 台で登録されます。

それ以上のデバイスをコントロールする場合は、EloView アカウント取得後に、弊社までお問い合わせ下さい。

但し、1 アカウントで登録可能なデバイス数を 100,000 台以上に拡張することはできません。

1) 「<https://www.elotouch.com/eloview/>」をブラウザソフトで開き、「Start your free trial」をクリックしてください。



2) 以下のアカウント作成のページが開きます。(フリートライアル)

The screenshot shows the 'Sign up and Start a 45-Day Free Trial' page. It features three input fields: 'Email Address', 'Password', and 'Re-enter Password', all of which are highlighted with a red border. Below these is a large blue 'Sign Up' button, also highlighted with a red border. At the bottom left, there is a link 'Already a Member? Log In'.

アカウントとして使用するメールアドレスとパスワードを入力して、「Sign Up」をクリックしてください。

パスワードの長さは、大文字のアルファベット、数字、記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。

一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。

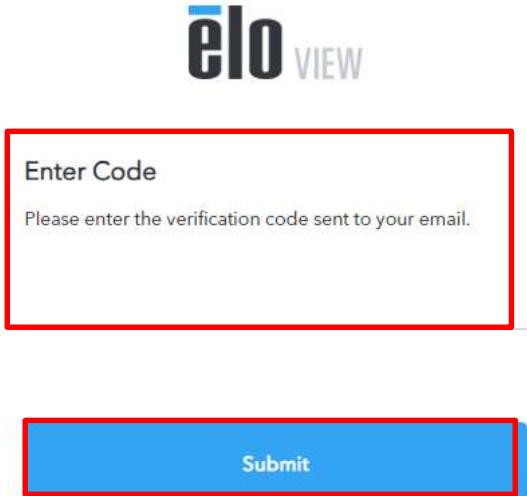
二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。

三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。

パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。(「」は、含みません)

「123456789012」、「ABCDEFGHIJKLM」(使用している文字の種類は、1種類ですが、12文字以上の場合は、使用可能です。)  
「12345ABCDE」(使用している文字の種類が、2種類なので、10文字以上の場合は、使用可能です。)  
「123ABC#%」(使用している文字の種類が、3種類なので、8文字以上の場合は、使用可能です。)

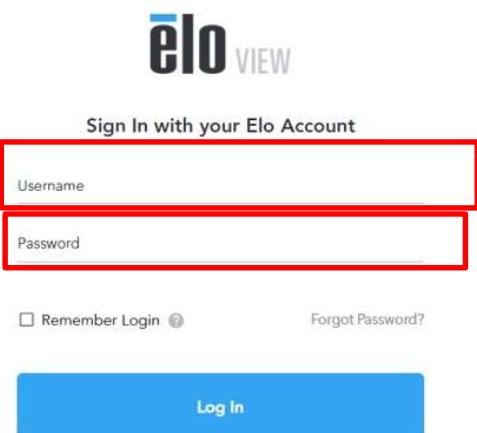
- 3) メール送信のメッセージが表示され、設定したメールに「Email Verification Code」のメールが届きます。
- 4) 表示された画面に、上記 Email に記載された「Your verification code」を入力し、「Submit」をクリックします。



The screenshot shows a web page with the Elo View logo at the top. Below it is a form field labeled "Enter Code" with a placeholder "Please enter the verification code sent to your email." A large red box highlights this input field. Below the input field is a blue "Submit" button, also highlighted with a red box. At the bottom of the page, there is a link "Haven't received it yet? Resend a new code."

注意)このアカウントの状態はトライアルです。実際のシステムでご使用される場合は、弊社営業部門あるいはサポートセンターまで連絡し、継続して利用するアカウントの状態に変更する必要があります。また、使用するデバイス数がデフォルトでは 10 台なので、それ以上の台数で使用する場合は、その台数の設定も変更する必要があります。(この変更に費用は発生しません)

- 5) ログイン画面に切り替わりますので、設定したメールアドレスとパスワードを入力し、「Log In」をクリックするとログインできます。

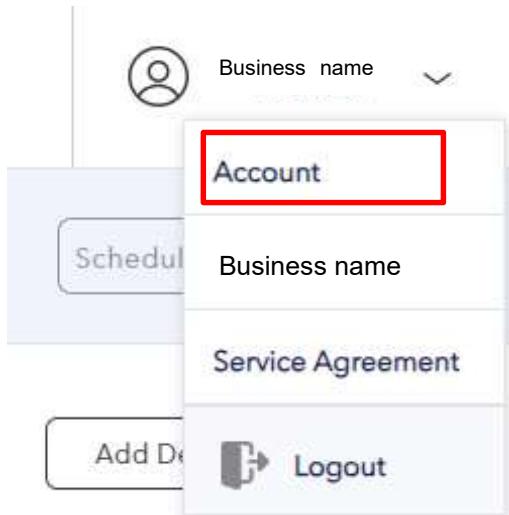


The screenshot shows a web page with the Elo View logo at the top. Below it is a "Sign In with your Elo Account" header. There are two input fields: "Username" and "Password", both highlighted with red boxes. Below the input fields are links for "Remember Login" and "Forgot Password?". At the bottom is a large blue "Log In" button.

以下がログイン後の画面(デバイス表示)の例です。

The screenshot shows the Elo Device Management interface. At the top right, there is a user icon labeled "Business name". Below it, there are buttons for "Schedule" and "Deploy Now". In the center, there is a large white area representing the device list, with columns for "Device Name", "Serial Number", "Software Version", "Group Name", "Tags", "Content", "OS360 Status", and "Delete". At the bottom right of this area, there is a "Add Device" button with a plus sign and a "Print" icon.

右上の Business name 部(実際の表示は登録された名前)をクリックすると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



「Account」をクリックし、表示される画面右上に Total Devices が表示されます。  
この例の場合、最大 25 台が管理可能台数で、2 台が登録中ということになります。

The screenshot shows the "Account" screen. At the top, it displays "Total Devices: 2/25". Below that, there is a section titled "Device Subscriptions" with two buttons: "Connect" (0 devices) and "Control" (2 devices).

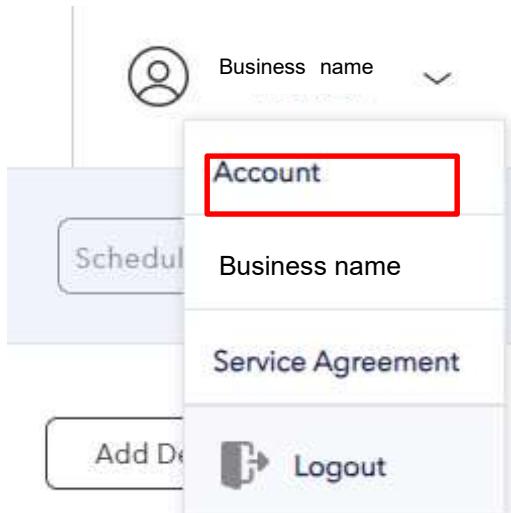
また、「Site Contact」の下に、アカウントの Email アドレス等が表示されています。

The screenshot shows the "Site Contact" information. It includes the "Site Contact" title, the account name "XXXXX XXXX(登録名)", and the email address "????@?.com(Email アドレス)".

## 1.2 サブアカウント(Sub account)

サブアカウント(Sub account) を作成し、複数の“Child”アカウントを管理することが可能になります。  
(複数のエンドユーザーをお持ちで、そのエンドユーザーのアプリや配信も管理する場合には有効です。)  
備考)サブアカウント数に上限はありません。

1)画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。



2)Account の詳細情報が表示された画面の「Sub Accounts」タブを選択します。

3)右下の「Add Account+」をクリックすると、サブアカウントが追加できます。追加できない場合は、弊社まで依頼してください。  
その際に、Email アドレスと OrgID が必要になります。

4)サブアカウントに入る場合は、右側の右下の「Switch Account」下のアイコンをクリックしてください。

サブアカウントの EloView 画面(ロゴなど)も、カスタマイズすることが可能で、  
複数のエンドユーザーを識別管理することができます。



### 1.2.1 サブアカウントで管理可能台数の変更

注意)サブアカウントのトータル台数は、メインアカウントで、管理できる台数以下になります。

1)「Sub accounts」タブを選択し、管理台数を設定するサブアカウントを表示し、鉛筆アイコンをクリックします。

This screenshot shows the 'Sub Accounts' tab selected in the navigation bar. It displays basic account information: Business Name (redacted), Site Contact (redacted), Website (---), Site Name (---), Address (1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan). Below the table, there are tabs for 'Users', 'Roles', and 'Sub Accounts'. A red box highlights the 'Sub Accounts' tab. On the right, there is a search bar and an 'Edit' button with a pencil icon.

2)「Total Allowed Devices」に希望する台数を入力し(例は 5 台)、右上の「Apply」をクリックします。

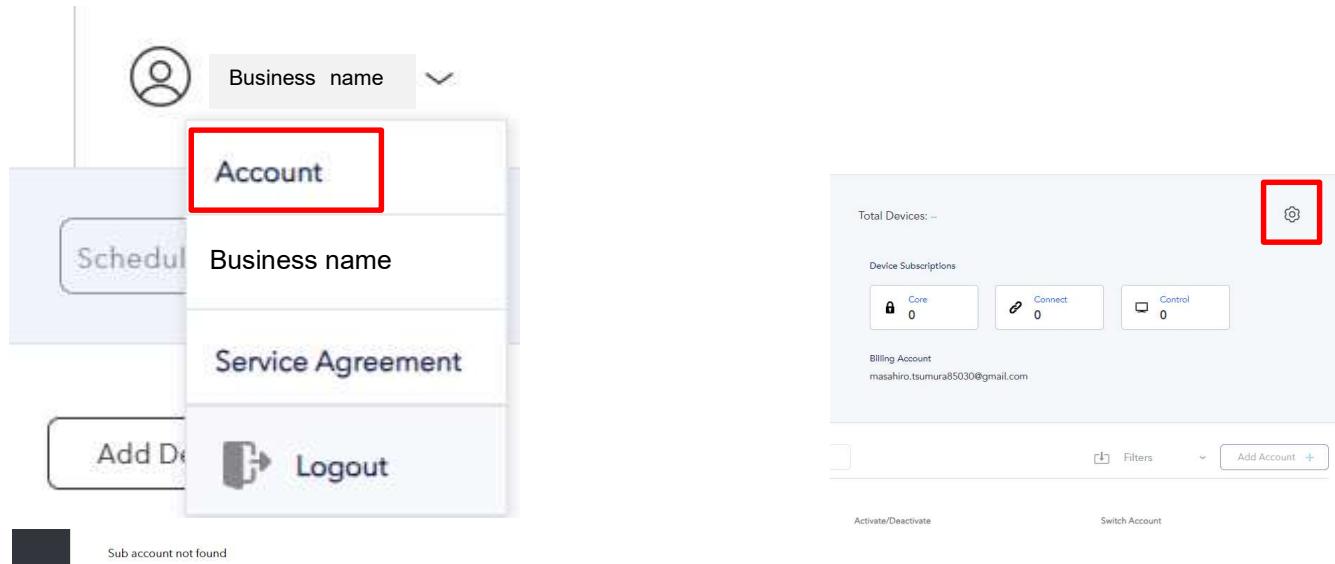
This screenshot shows the 'Edit Sub Account' dialog. It has sections for Name (Account Name: Tsumura\_gm...), Contact Person (First Name: masahiro, Last Name: tsumura, Phone: 045-478-2161, Email: masahiro.tsumura85030+sub11@gmail.com), and Address (Street Address: 横浜市港北区, City: , State: , Zip/Postal Code: 222-0033). At the bottom, there are buttons for 'Delete', 'Cancel', and 'Apply', with 'Apply' highlighted by a red box. A red box also highlights the 'Total Allowed Devices' input field, which contains the value '5'.

3) 「Total Devices」の右側の値が希望値(例は 5)になっていることを確認して、終了です。

This screenshot shows the 'Sub Accounts' tab again. The 'Total Devices' field for the account (Business Name redacted) now shows '0 / 5', indicating the change made in the previous step. The 'Edit' button is visible to the right of the field.

### 1.3 OrgID 確認

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。



- 2) 右上に表示されるギアマーク クリックし、右下に OrgID が表示されます。

The screenshot shows the 'Information' page of the Elo Connect interface. It includes fields for 'Business Name' (redacted), 'Site Contact' (redacted), 'Site Name' (N/A), 'Address' (1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan), 'Billing Address' (N/A), 'Website' (--), and 'Devices' (Core, Connect, Control, Total Devices sections with their respective statistics). At the bottom right, a red box highlights the 'OrgId : 01HF39WH4' field.

## 1.4 EloView 開発者向け情報

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームの左のアイコンをクリックします。



- 2) User Profile 画面の左下に Dev Zone を選択すると、SDK など開発者向けの情報が入手できます。  
User Profile

First Name	Last Name
<input type="text"/>	<input type="text"/>
Email Address	Phone
<input type="text"/>	<input type="text"/>
Address	MFA Credentials Disabled
<input type="text"/>	

### OAuth Credentials

[Generate OAuth Credentials](#)

OAuth Credentials not yet generated

[Dev Zone](#)   [SDK](#)   [OTA's](#)   [API's](#)

## 1.5 <https://www.elotouch.com/eloview> への掲載情報

- 1) 「Pricing」に関しましては、日本国内用ではございませんので、ご注意ください。

Release notes

View the full list of major and minor released updates from EloView®.

Support

Access comprehensive how to videos and step-by-step instructions for everything EloView®.

Pricing

Get flexible pricing for companies and device fleets of all sizes.

[Start your free trial](#)

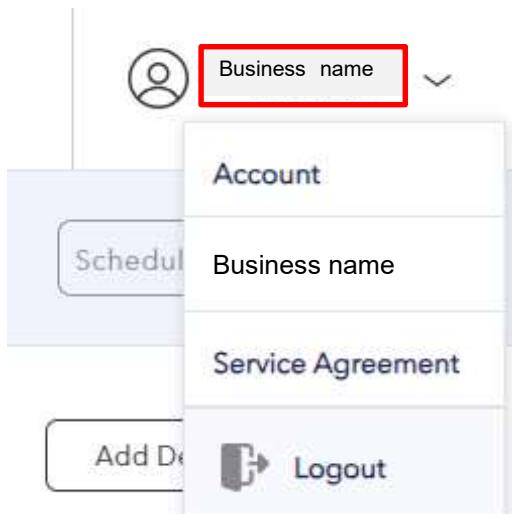
[Log in](#)

## 1.6 EV3との違い

- 1) デバイス登録時に使用する csv ファイルの形式

## 2. アカウント設定(Accounts)

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、Business name をクリックします。



- 2) 以下のような Account 画面が表示されます。

This screenshot shows the 'Business name' account page. It includes fields for Business Name (Tsumura), Site Contact (Masahiro Tsumura, masahiro.tsumura85030@gmail.com), Website (empty), and Device Subscriptions (Core 0, Connect 0, Control 0). The Billing Account is listed as masahiro.tsumura85030@gmail.com. Below this, there's a table for managing users, roles, and sub-accounts. The 'Users' tab is selected, showing a list of users with columns for Name, Email Address, Account Type (Account Admin), Last Login (11/15/2023), and Actions (Edit, Delete).

- 3) Account の詳細情報が表示された画面の右上のギアマークをクリックします。

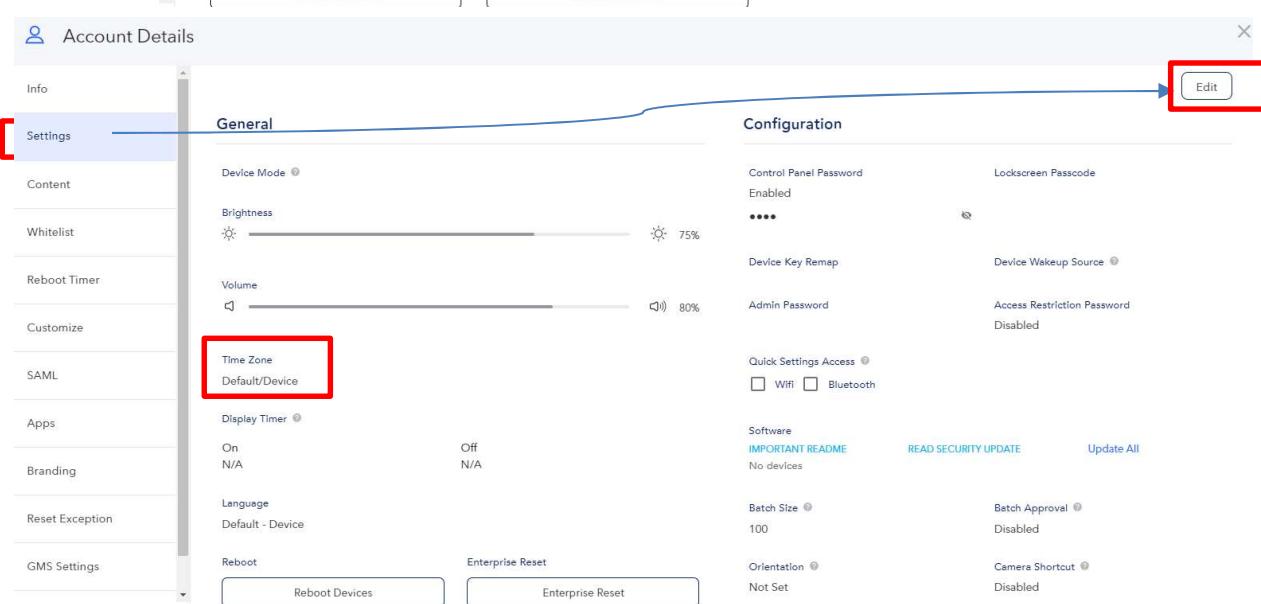
This screenshot is identical to the previous one, showing the 'Business name' account page. However, the gear icon in the top right corner of the main content area is highlighted with a red box, indicating where the user should click to access more settings or configuration options.

以降はそれぞれの項目を設定して下さい。

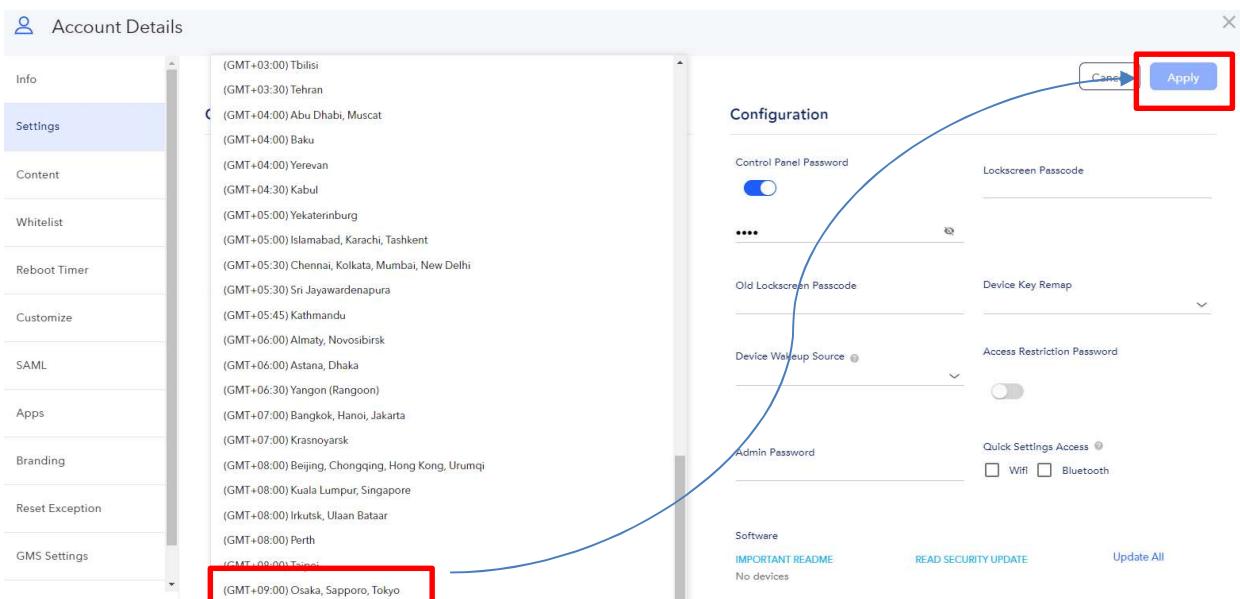
## 2.1 「Time Zone」の設定

注意)「Time Zone」設定が、「N/A」または「Default/Device」になっている場合、製品の再起動を行った際に、製品の「Time Zone」設定が変更されてしまう場合がありますので、必ず以下のように設定して下さい。

- 1) 「Account Details」の中の左側に表示される「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして下さい。



- 2) 「Time Zone」をプルダウンから「(GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo」を設定し、右上の「Apply」をクリックして下さい。Asia/Tokyoと表示されます。



## 2.2 言語設定(Language)

- 1) 「Account Details」を表示し、「Settings」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
- 2) 表示されるメニュー内の「Language」の下の「Default-Device」をクリックします。

The screenshot shows the Elo device settings interface. The left side has a 'General' tab with sections for Device Mode (Control), Brightness (75%), Volume (80%), Time Zone (Osaka, Sapporo, Tokyo), and Display Timer (Off). The right side has a 'Configuration' tab with sections for Control Panel Password (disabled), Lockscreen Passcode (disabled), Old Lockscreen Passcode (\*\*\*\*\*), Device Key Remap (disabled), Device Wakeup Source (disabled), Access Restriction Password (disabled), Admin Password (disabled), Quick Settings Access (Wifi, Bluetooth disabled), Software (IMPORTANT README, READ SECURITY UPDATE, Update All), and Language (Default - Device). A red box highlights the 'Language' dropdown menu.

General

Control Panel Password

Lockscreen Passcode

Brightness

Volume

Time Zone

Display Timer

Language

Default - Device

Configuration

Old Lockscreen Passcode

Device Key Remap

Device Wakeup Source

Access Restriction Password

Admin Password

Quick Settings Access

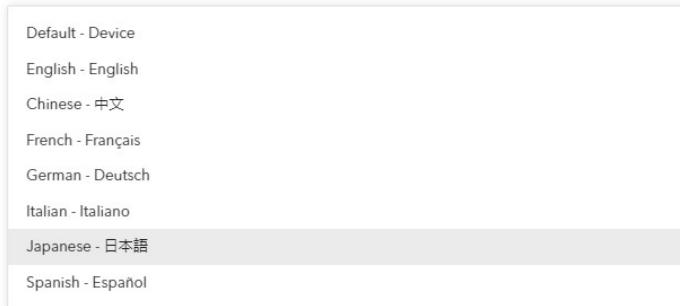
Software

IMPORTANT README

READ SECURITY UPDATE

Update All

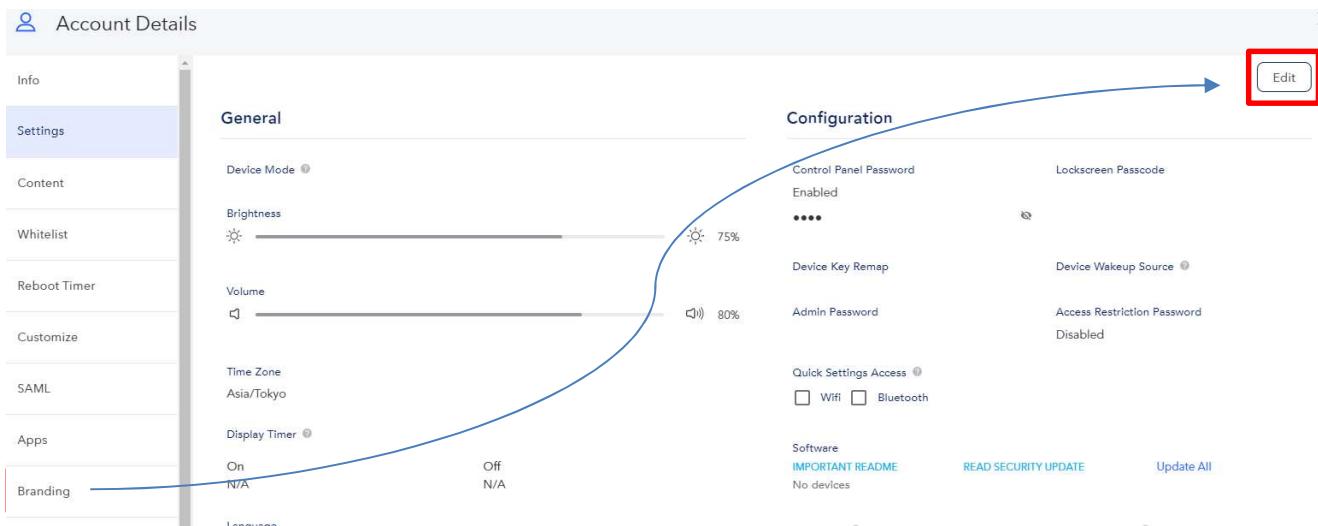
- 3) 各国の言語がプルダウンされますので、「Japanese-日本語」を選択し、右上の「Apply」をクリックします。



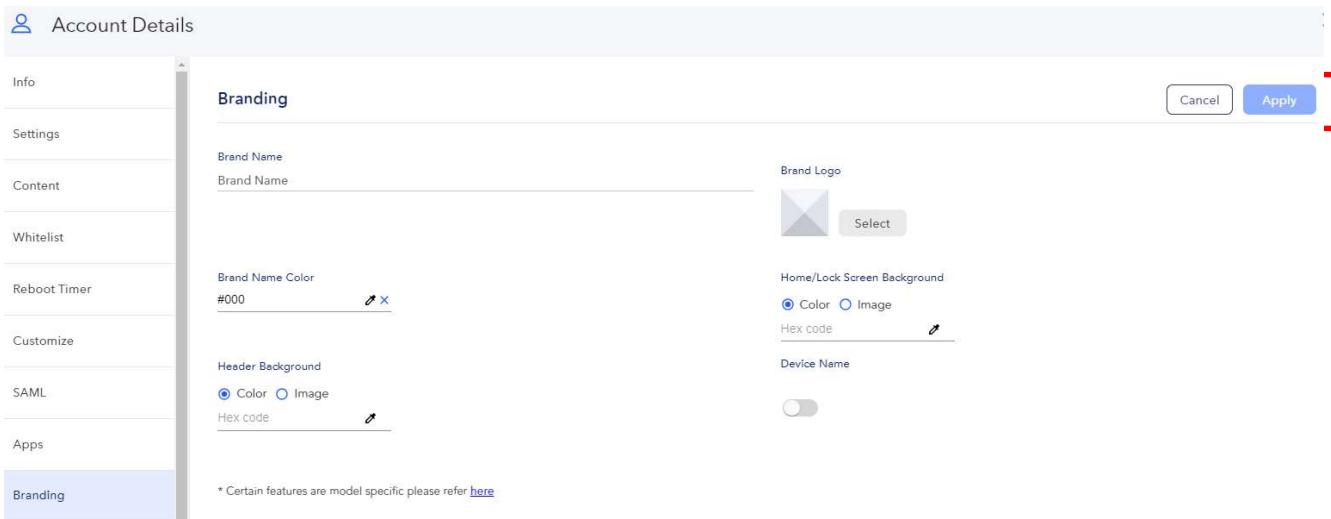
- 4) 「Language」が、「Japanese-日本語」に変更されていることを確認して終了です。

## 2.3 「Branding」(デバイスの"Elo Home"画面のカスタム化)

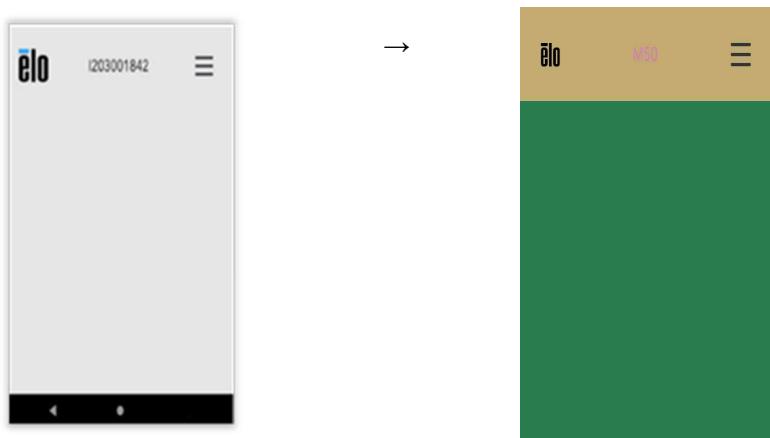
- 「Account Details」を表示し、「Branding」を選択し、「EDIT」をクリックしてください。



- 以下のように表示されますので、「Brand name」、「Brand Logo」及び色などを設定し、「Apply」をクリックしてください。



- デバイスに表示される"Elo Home"の画面構成が変更されます。



## 2.4 「Customize」(EloView 画面のカスタム化)

- 1) 「Account Details」を表示し、「Customize」を選択し、「Edit」をクリックしてください。
- 2) 「Company Display Name」を入力し、「Company Logo」の下の「Select」をクリックし、使用するロゴファイルを選択して、「Apply」をクリックしてください。
- 3) 「Company Display Name」と「Company Logo」が変わっていることを確認して下さい。

The screenshot shows the 'Account Details' page with the 'Customize' tab selected. On the left, there is a sidebar with links: Info, Settings, Content, Whitelist, Reboot Timer, and Customize (which is highlighted with a blue background). The main area has a heading 'Customize' and a note: 'You can get the custom login page at https://secure.eloview.com/user:email=masahiro.tsumura85030@gmail.com/org:id=01HF39WH48X9R0GJMMNEJJX6KA/session'. It contains fields for 'Company Display Name' (with a red box around it) and 'Company Logo' (with a red box around it). At the bottom, there is a note: '\* Certain features are model specific please refer [here](#)'.

## 2.5 「Control Panel Password」の確認

- 1) 「Account Details」の「Settings」タブ表示内で「EDIT」を選択し、「Configuration」右下のアイマークをクリックすると、その左側に Control Panel Password が表示されます。

The screenshot shows the 'Settings' page with the 'General' and 'Configuration' tabs. The 'General' tab is active. It includes sections for Device Mode, Brightness (75%), Volume (80%), Time Zone (Asia/Tokyo), Display Timer (Off), Language (Japanese - 日本語), and a Device Mode section. The 'Configuration' tab is also shown, featuring sections for Control Panel Password (Enabled, with a red box around the status), Lockscreen Passcode (disabled), Device Key Remap, Admin Password (disabled), Device Wakeup Source (disabled), Quick Settings Access (Wifi, Bluetooth), Software (IMPORTANT README, READ SECURITY UPDATE, Update All), Batch Size (100), and Batch Approval (disabled).

## 2.6 ユーザーインバイト及びデータ

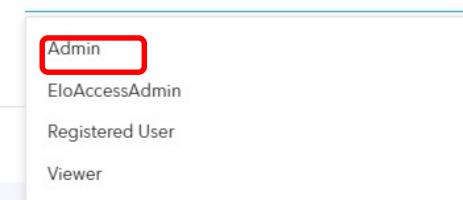
### 2.6.1 ユーザーインバイト

各種権限を設定したユーザーをインバイトすることができます。これにより複数人により、管理することが容易になります。  
トラブル防止のため追加するユーザーには事前の登録することをお知らせください。

- 1) 画面右上の登録したビジネスネームをクリックすると、プルダウンが表示されますので、「Account」をクリックします。
- 2) 「Users」タブが選択されると、右側に「Add User+」と表示されますので、クリックします。

3) 「Add New User」の表示がされますので、「First Name」、「Last Name」、「Email Address」を入力し、「Role」の部分をクリックします。

- 4) 「Role」の下にプルダウンメニューで役割が表示されます。  
例として、Admin をクリックします。



- 5) その結果、以下のように、Permissions 画面が変更されます。  
 備考)「Admin」ではアカウント管理者とほぼ同等の管理が可能です。

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	<input checked="" type="checkbox"/>				
Toggle Org level MFA	<input checked="" type="checkbox"/>				
Reset MFA	<input checked="" type="checkbox"/>				
Devices	<input checked="" type="checkbox"/>				
Enterprise Reset	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Mode	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Groups	<input checked="" type="checkbox"/>				
Content	<input checked="" type="checkbox"/>				
Download	<input checked="" type="checkbox"/>				

以下は「Registered User」の結果で、デバイス管理やコンテンツ登録が可能です。

Permissions Name	All	Read	Write	Create	Delete
User	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Toggle Org level MFA	<input type="checkbox"/>				
Reset MFA	<input type="checkbox"/>				
Devices	<input checked="" type="checkbox"/>				
Enterprise Reset	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Mode	<input checked="" type="checkbox"/>				
Device Groups	<input checked="" type="checkbox"/>				
Content	<input checked="" type="checkbox"/>				
Download	<input checked="" type="checkbox"/>				

- 6) 設定する場合は、右上の「Apply」をクリックし、ユーザーが追加されていることを確認します。

以下は「Viewer」で追加した例です。

Users	Roles	Sub Accounts	Search user by email
Name	Email Address	Account Type	Last Login
MT	[REDACTED]	Account Admin	11/16/2023
MT	[REDACTED]	Viewer	--

- 7) 追加したユーザーに、登録が完了したことをお知らせし、以下の手順でログインができるかを確認してもらえるよう依頼してください。

a) 登録された Email Address に、「temporary password」を含むメールが届きますので、「Click here」をクリックして申請を開始します。



EloView - Invitation

You have been invited to join the EloView family

Your username is **Email address** and temporary password is  
temporary password

[Click here](#) to continue to login

Need some help? Our [online support portal](#) is loaded with EloView knowledge base articles. If you need a human, the EloView team can be reached at (844) 435-6832 or [Support@EloView.com](mailto:Support@EloView.com)

- b) 「temporary password」でログインします。
  - c) 「Reset Password」を実行し、新しいパスワードを設定します。

パスワードの長さは、大文字のアルファベット、数字、記号の三種類から何種類が含まれているかによって、最低文字数の制限が変わります。

    - 一種類だけを使用している場合は、12 文字以上の長さが必要です。
    - 二種類を使用している場合は、10 文字以上の長さが必要です。
    - 三種類を使用している場合は、8 文字以上の長さが必要です。

パスワードとして使用できる文字列の例には、下記のものがあります。（「」は、含みません）

    - 「123456789012」、「ABCDEFGHIJKLM」（使用している文字の種類は、1種類ですが、12 文字以上の場合は、使用可能です。）
    - 「12345ABCDE」（使用している文字の種類が、2 種類なので、10 文字以上の場合は、使用可能です。）
    - 「123ABC%#」（使用している文字の種類が、3 種類なので、8 文字以上の場合は、使用可能です。）
  - d) 再度、新しいパスワードでログインし、正しく EloView のデバイス表示画面が表示されることを確認して終了です。

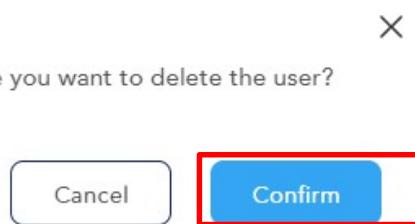
## 2.6.2 ユーザーデリート

設定したユーザーをデリートすることができます。

- 1) アカウントの「Users」タブの画面で、デリートするユーザーの右にあるゴミ箱アイコンをクリックします。

Users	Roles	Sub Accounts	Search user by email	Organization MFA	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled	Add User +
Name	Email Address	Account Type	Last Login	Reset MFA Credentials	Actions	
MT	mt@domain.com	Account Admin	11/16/2023	<input type="checkbox"/>		
MT	n@domain.com	Viewer	--	<input type="checkbox"/>		

- 2) 以下のデリートの確認画面が表示されたら、「Confirm」をクリックし、デリートが成功したメッセージが表示されます。



- 3) 指定したユーザーがデリートされていることを確認して終了です。

## 2.7 WiFi 設定(DFS 設定)

注意)5GHzで使用する場合は、DFS 設定が Enable である必要があります。  
5GHzで使用する可能性がある場合は、以下のように「Account Details」を表示し、「Settings」を選択して、右上の「Edit」をクリックし、「DFS」を Enable にして下さい。

The screenshot shows the 'Account Details' screen with the 'Settings' tab selected (highlighted by a red box). The 'Information' section displays various settings:

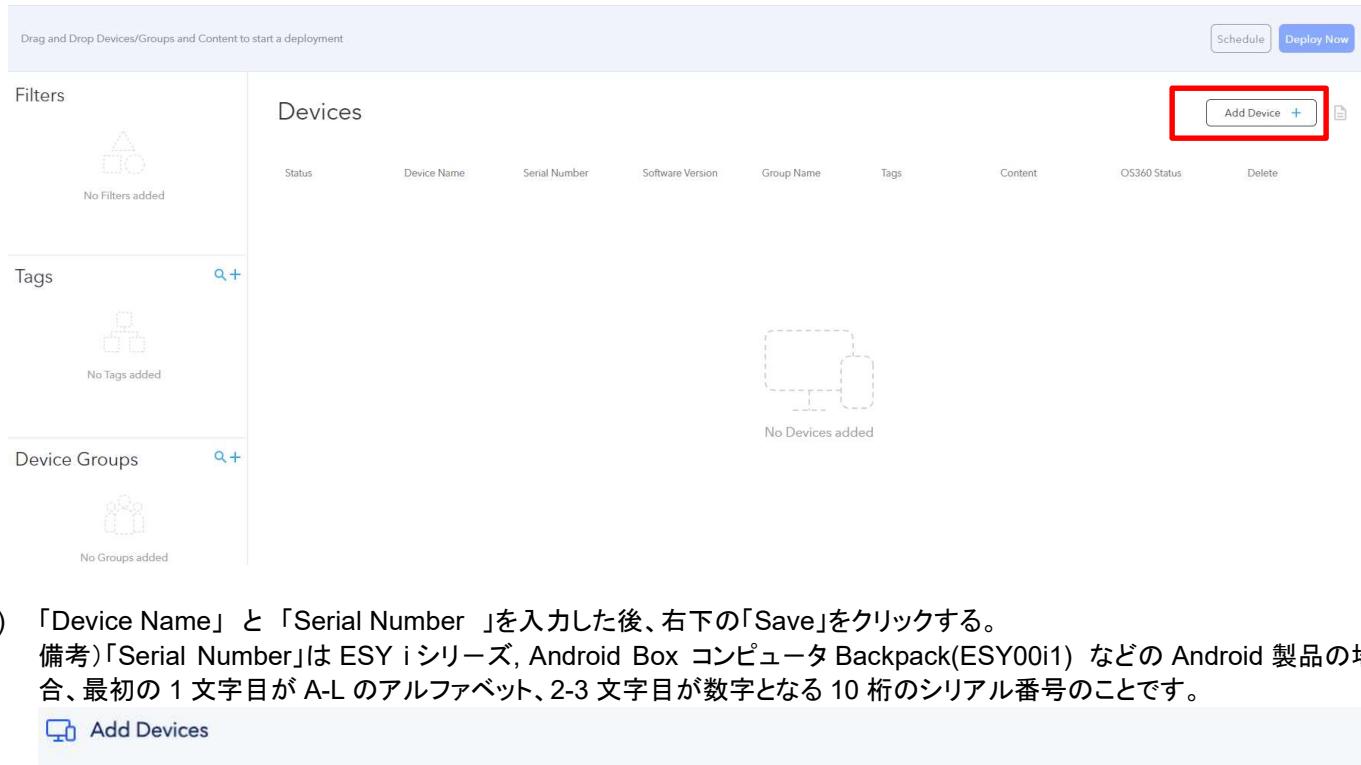
Setting	Status
Network Configuration	Disabled
Wifi	Enabled
EST	Disabled
Auto Correct	Enabled
Auto Play	Disabled
DFS	Enabled
Content Pinning	Disabled

### 3. デバイス関係(Devices)

#### 3.1 デバイス登録

注意)オフライン状態で設定した場合、後でネットワークに接続しても、EV4 のサーバーに接続できない場合があります。

- 1) 画面左側の「Devices」アイコン  をクリックする。
- 2) 以下のように表示されている状態で「Add Device+」をクリックする。  
備考)図は既にデバイスが全く登録されていない場合です。



The screenshot shows the EloView device management interface. On the left, there are filters for Tags and Device Groups. The main area is titled 'Devices' and shows columns for Status, Device Name, Serial Number, Software Version, Group Name, Tags, Content, OS360 Status, and Delete. A large red box highlights the 'Add Device +' button in the top right corner of the device list area.

- 3) 「Device Name」と「Serial Number」を入力した後、右下の「Save」をクリックする。  
備考)「Serial Number」は ESY i シリーズ、Android Box コンピュータ Backpack(ESY00i1)などの Android 製品の場合、最初の 1 文字目が A-L のアルファベット、2-3 文字目が数字となる 10 衔のシリアル番号のことです。

 Add Devices



The screenshot shows the 'Add Device' dialog box. It has fields for 'Device Name' and 'Serial Number'. To the right, there are dropdown menus for 'Device Mode' set to 'Control'. A large red box highlights the 'Device Name' and 'Serial Number' input fields.

- 4) アイコンは黒のままで、デバイスが登録されたことを確認します。

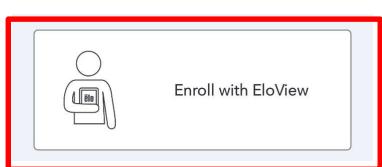
1 Device



The screenshot shows the device list after registration. The first device is listed with the ID '10/PM2113', serial number 'C213A40075', software version 'NA', group name 'TPS', and tags 'NA'. The status icon for this device is highlighted with a red box. The rest of the columns (Status, Device Name, Serial Number, Software Version, Group Name, Tags, Content, OS360 Status, Delete) are visible but not highlighted.

- 5) 通電及び、有線 LAN 接続あるいはデバイスで WiFi 設定し、デバイスをオンライン可能な状態にする。
- 6) デバイスに表示される Enroll with EloView のアイコンをタップする。

- 7) ④に変っていることを確認して終了です。(数分待つ必要があります。)



# 1 Device

Add Device

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
	10/PM2113	C213A40075	NA	TPS	NA		NA	

備考)デバイスは同一 Group に登録して管理することも可能です。詳細は 3.6 項などを参照して下さい。

## 3.1.1 csv ファイルを使用しての一括登録

- 1) 「Devices」アイコンをクリックして、左下に表示されることを確認する。

Download Template

Import Device List

- 2) まず、「Download Template」をクリックして、テンプレートの AddDeviceTemplate.csv ファイルを作成し、読み込みます。

- 3) テンプレートファイルに、登録するデバイスの、Device Mode, Device Name, Serial Number, Firmware Version Address, City, State, Postal Code, Country, Tags, Site Name, Time Zone, Group などの情報を追記します。

**注意) Device Mode("Control"), Device Name, Serial Number は必須です。**

- 4) 「Import Device List」のアイコンをクリックし、上記で作成したファイルを読み込みます。

以下は「TPS」というグループ名で、Time Zone を GMT+09:00 に設定した 1 台を登録した csv ファイルの例です。

*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Addre	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075									Asia/Tokyo	TPS

- 5) 次に右下の「Save」をクリックします。

Download Template Import Device List

Save

備考)エラーメッセージが表示された場合は、ファイルを修正して、実行して下さい。

- 6) 「Devices」アイコンをクリックすると TPS というグループに、1 台登録されたことが確認できます。

# 1 Device

Add Device

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
	10/PM2113	C213A40075	NA	TPS	NA		NA	

- 7) 以降は 3.1 の 5)~7)で個別登録した方法と同様にオンライン状態に設定して、終了です。

### 3.2 デバイス削除

- 1) 「Devices」アイコンをクリックし、表示された登録済デバイスのリストから、削除するデバイスを確認する。

1 Device

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

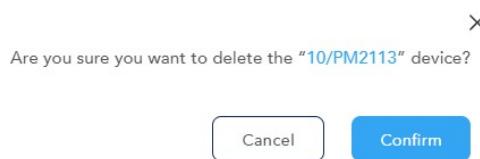
- 2) 削除するデバイス右端のゴミ箱アイコンをクリックする。

1 Device

Add Device +

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

- 3) デバイス削除の確認メッセージが表示されるので、「Confirm」ボタンをクリックします。



- 4) デバイスの削除処理が終了すると、削除したデバイスがリスト表示から消え、終了です。

Devices

Add Device +

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
No Devices added								

### 3.3 「Settings」

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Settings」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リブート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。

「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。

主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行って下さい。

但し、オンライン（アイコン色が緑）の状態でしか、実行できません。

#### 1) Device リスト画面

1 Device

Add Device +

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

#### 2) 各デバイスの Device Details 画面

Device Details	Device Name 10/PM2113	Serial Number C213A40075	Software Version NA	Site Address JP
Info				
Settings	Device	Site Address	Edit	
Software	Device Name 10/PM2113	Site Name NA	Site Contact Masahiro Tsumura masahiro.tsumura85030@gmail.com	045-478-2161
Whitelist	Group Name TPS	Address 1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan		
Reboot Timer	Serial Number C213A40075	Device Model --	Last Reboot --	Last Online Never
Activity	Device Model Descriptor --	Time Zone Asia/Tokyo	GPS Co-ordinate 0,0	
Contents On Device	Last Firmware Update --			

#### 3) Settings タブ選択画面

Device Details	Device Name Backpack EV4	Serial Number L211A80316	Software Version 5.000.032.0071+p	Reboot Device	Enterprise Reset	Edit
Info						
Settings	General	Configuration				
Software	Device Mode ⓘ Control	Control Panel Password Disabled	Lockscreen Passcode			
Whitelist	Brightness  85%	Admin Password	Screen Density ⓘ 240 HDPI (1.5x)			
Reboot Timer	Volume  50%	Quick Settings Access ⓘ <input checked="" type="checkbox"/> WiFi <input checked="" type="checkbox"/> Bluetooth	Orientation ⓘ Not Set	Camera Shortcut ⓘ Disabled		
Activity	Display Timer ⓘ On N/A Off N/A	Auto Accept NFC and Camera Usage ⓘ Disabled	Microphone ⓘ Enabled			
Contents On Device	Language English - English	Inbuilt Barcode Scanner ⓘ Disabled	NTP URL ⓘ NA			
Apps	Interface					
Reset Exception						
Peripheral Configuration						

### 3.3.1 「Brightness」、「Volume」

- 輝度や音量を調整する場合は、○カーソルをスライドして設定して、右上の「Apply」をクリックして下さい。



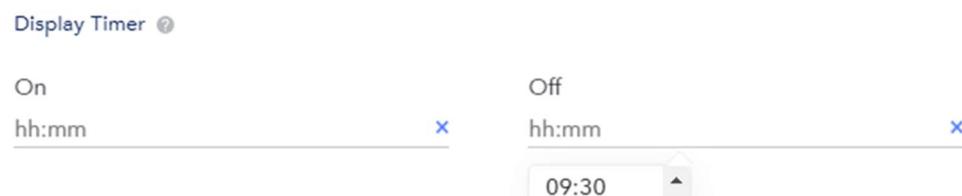
### 3.3.2 「Display Timer」

ディスプレイタイマーが設定されている場合、Off 時間内は、画面を触りますと登録されているアプリが表示されますが、1 分後に画面が消えますので注意して下さい。

- 「Display Timer」の ON と OFF 時間を設定し(hh:mm AM/PM で設定)、右上の「Apply」をクリックして下さい。

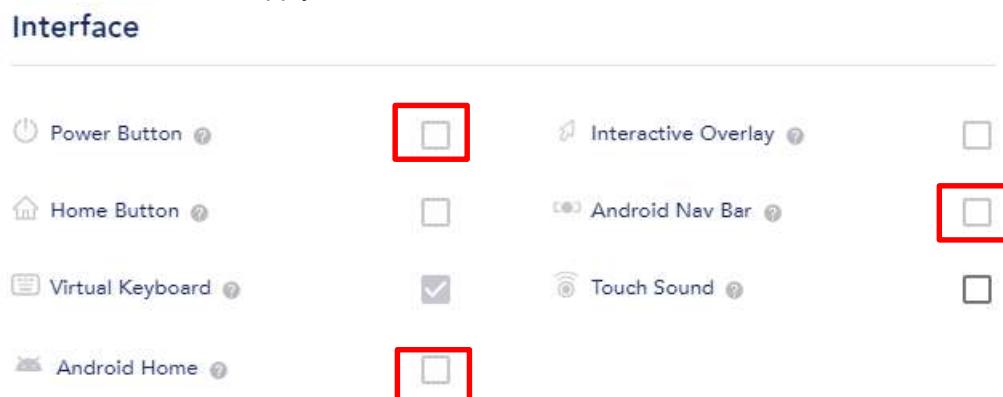


備考)設定を解除する場合は、時間設定を削除し、hh:mm の状態で「Apply」してください。



### 3.3.3 Navigation Bar 表示や Power button の有効/無効選択等の設定

- Interface の項目(「Android Home」、「Android Nav Bar」や「Power button」)のうち、有効にする内容の右側のボタンをチェックして、右上の、「Apply」をクリックしてください。

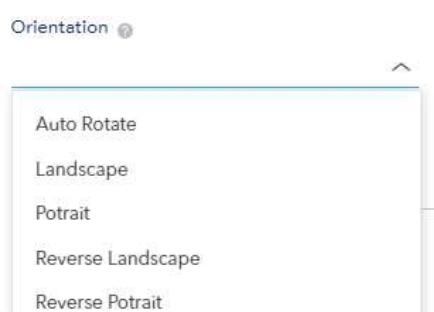


### 3.3.4 「Orientation」

表示画面の方向を設定できます。

注意)Box PC(Backpack) の場合は、デバイス内の設定で設定する必要がありますので、デバイスのユーザーガイドを参照して「Screen Orientation (画面の向き)」と「External Screen Orientation」で設定して下さい。

- Orientation の項目のうち、設定する方向を選択して、右上の、「Apply」をクリックして下さい。



### 3.3.5 WiFi 設定

デバイスに直接書き込む以外に、デバイスがオンライン状態であれば、EloView 経由で以下の、Name, ssid\_security\_type, ssid\_password などのような WiFi の設定を行うことが可能です。(ssid\_priority を記載し、複数設定可能、WiFi 最大 5 と LAN 1)

「networkConfiguration.csv」ファイル例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	active	network_type	ssid_security_type	ssid_password	static_ip	gateway	network_prefix	dns1	dns2	ssid_priority
2	wifi	disabled	open	wifi_nw						
3	yes	wifi	nw_with	open_ssid						
4	yes	wifi	wep	wifi	wep	password				
5	yes	wifi	nw_with	wpa		password				
6	yes	wifi	nw_with	wpa	password	192.168.3.1	192.168.3.	24	192.168.3.1	192.168.3.1

項目	選択肢	記載内容あるいは備考
active	yes/no	
network_type	wifi/lan	
name		ネットワーク名
ssid_security_type	wep/wpa	
ssid_password		SSID パスワード
static_ip		Static IP
gateway		Gateway IP
network_prefix	24/25	Subnet Mask 24:255.255.255.0/25:255.255.255.128
dns1		Primary DNS server address
dns2		Secondary DNS server address
ssid_proxy_host		Server IP address
ssid_proxy_port		proxy server/default 8080
ssid_priority	1~6	Priority(数字が小さいほうが優先)
disable_open_network_notification	yes/no	ネットワークオープン時の Notice 有無
proxy_exclusion_list		proxy 使用時の除外リスト
avoid_poor_wifi_connection	yes/no	poor wifi network 接続

備考) WiFi 設定が完了していても、LAN 接続されている場合は、LAN 接続が優先されます。

- 1) まず、5GHz の WiFi で使用する場合は、「DFS」の設定が「Enable」になっていることを確認してください。  
アカウント全体の設定の場合は、2.7 を参照してください。個別のデバイスで対応する場合は「Device Details」を表示し、「Settings」を選択し、右上の「Edit」をクリックして、「DFS」を Enable にして下さい。

Device Details

Device Name	Serial Number
C213A40075	C213A40075

Info

Settings

Network Configuration  
Disabled

Wifi ⓘ  
Enabled

EST ⓘ  
Disabled

Auto Correct  
Enabled

Auto Play ⓘ  
Disabled

DFS ⓘ  
Enabled

Content Pinning ⓘ  
Disabled

- 2) 次に、「Configuration」内の Network Configuration を「Enable」にすると WiFi の設定ができます。  
まずは、右上の「Edit」をクリックします。

Configuration

Control Panel Password  
Enabled  
••••

Lockscreen Passcode  
?

Admin Password  
Orientation ⓘ  
Not Set

Quick Settings Access ⓘ  
 WiFi  Bluetooth

Camera Shortcut ⓘ  
Disabled

Auto Accept NFC and Camera Usage ⓘ  
Disabled

Microphone ⓘ  
Disabled

Mobile Data ⓘ  
Disabled

Inbuilt Barcode Scanner ⓘ  
Disabled

NTP URL ⓘ  
NA

Network

Last Connected WiFi LAN Mobile

✓ 10.50.1.45 ✓ 1C:EE:C9:24:34:FE

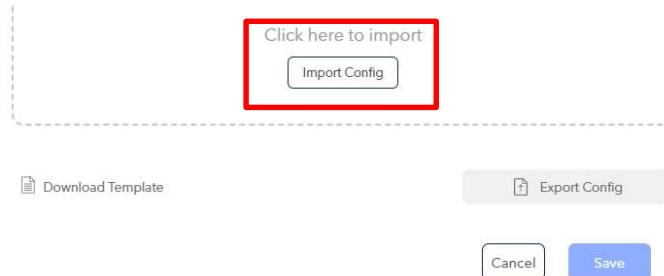
Network Configuration  
Disabled

Wifi ⓘ  
Enabled

3) 「Network Configuration」を、Enable にするために、クリックします。



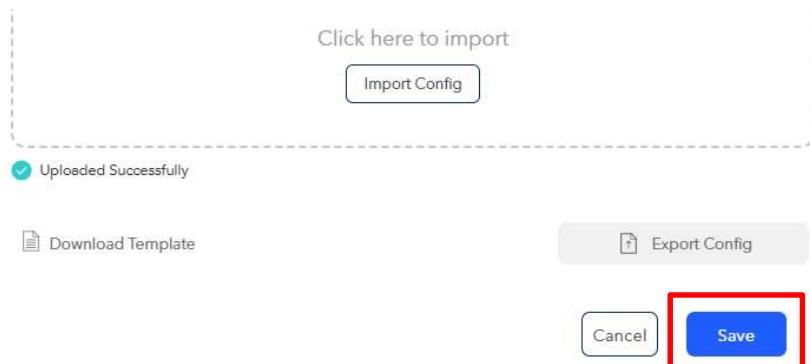
4) 以下のように表示されますので、「Import Config」をクリックし、csv ファイル選択し、読み込む。



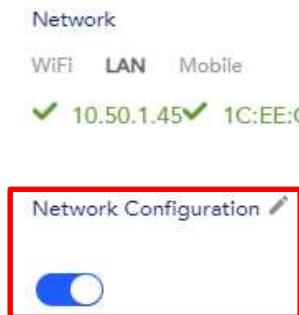
備考)「Download Template」をクリックするとテンプレートファイルがダウンロードされます。

「Export Config」をクリックすると設定済みの情報がダウンロードされます。

5) 「Uploaded Successfully」にチェックが入っていることを確認し、右下の「Save」をクリックします。



6) 「Network Configuration」が「Enable」になっていることを確認して、終了。



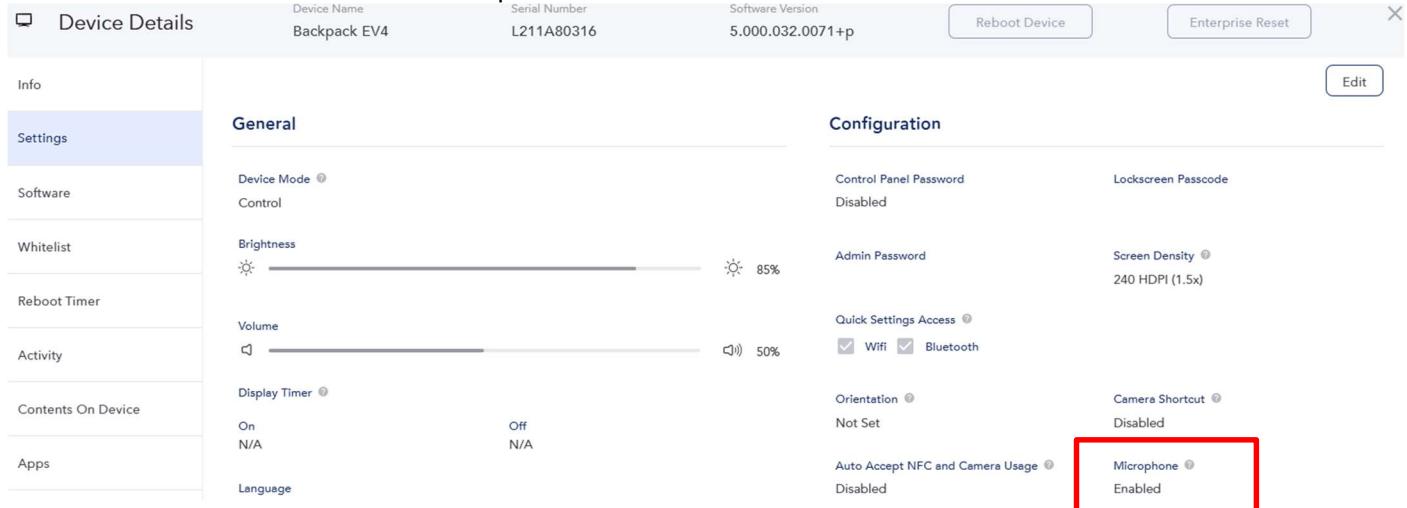
### 3.3.6 Reboot 手動実行

右上の「Reboot Device」をクリックすると、リブートの確認画面が表示されます。「Yes」をクリックするとデバイスはリブートされます。



### 3.3.7 MIC 有効化設定

MIC 入力を使用する場合は、右下の「Microphone」が「Enable」になっていることを確認してください。



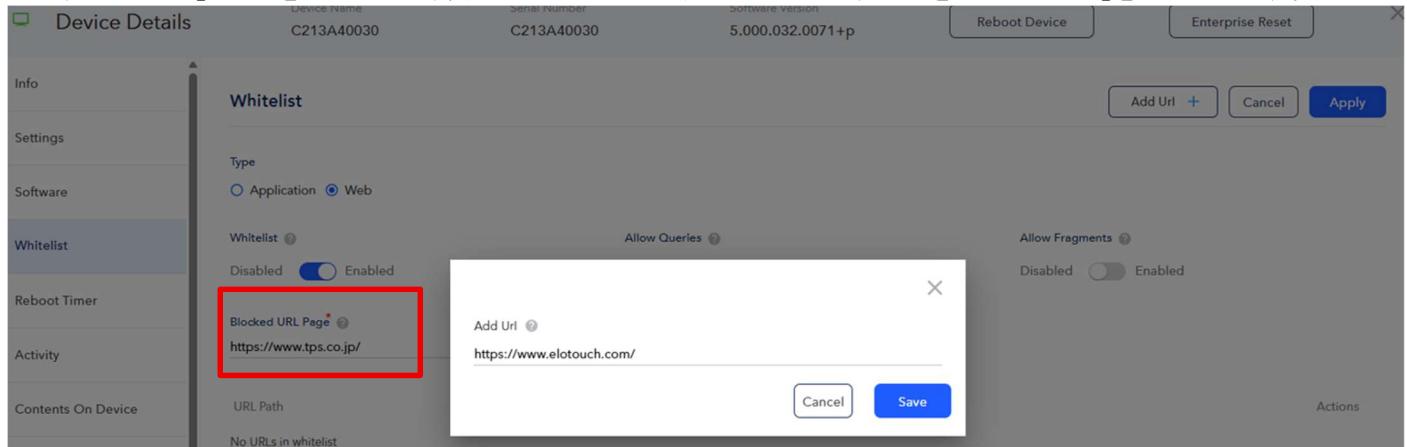
### 3.3.8 Whitelist 設定

Web アプリなどで、アクセスさせたくないサイトがある場合は、アクセス可能な url を Whitelist に追加することで対応可能ですか。

Whitelist タブで「Edit」をクリックし、Whitelist ボタンを「Enable」にします。

次に Blocked URL Page に表示させているサイトを入力します。

次に、「Add Url+」ボタンをクリックして、表示される Whitelist 追加メニューに、URL を入力し「Save」をクリックします。



最後に、右上の「Apply」ボタンをクリックして終了です。

### 3.3.9 表示画面の確認(スクリーンショット)

デバイスに表示されている内容は、「Device Details」の「Info」タブ内の「Now Playing」の下に表示されます。

「High Quality Screenshot」に設定すると高解像度で、表示されます。

その画像を保存して、スクリーンショットとしてご利用ください。

**但し、この画面表示は、定期的に更新されますので、動的なコンテンツの場合、注意してください。**

**更に、表示画面部をクリックすると、デバイスをタッチした事と同じ状況になりますので、注意して下さい。**

The screenshot shows the 'Device Details' interface with the 'Info' tab selected. In the 'Now Playing' section, there is a card for 'draw\_webapp'. The 'High Quality Screenshot' toggle switch is turned on, indicated by a red box. A large red box also surrounds the entire 'Now Playing' section, highlighting it as the area to click. Below the card, device information is listed: Package Name: com.elotouch.ic.WebViewController, Version: 3.60.45.

Device Details

Device Name: Z30QC      Serial Number: I213A70105      Software Version: 5.000.033.0013+p

Reboot Device      Enterprise Reset

Info      07/01/2025 3:58:18 PM

Movement distance: unknown  
Manufacturer: unknown  
Firmware version: unknown

Settings

Software

Whitelist

Reboot Timer

Activity

Content On Device

Apps

Reset Exception

Peripheral Configuration

Tags

test1 test2

Now Playing

draw\_webapp

1.27KB

07/16/2025

Device Screenshot  
Enabled

High Quality Screenshot

Package Name:  
com.elotouch.ic.WebViewController  
Version: 3.60.45

\* Certain features are model specific please refer [here](#)

### 3.4 OS のアップデート

EloView により、新しいバージョンを選択してアップデートすることが可能です。

以下の手順を参照して下さい。

**注意) EloView では古いバージョンに戻すことはできません。**

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Numberなどをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Software」タブを選択すると、輝度、音量、言語設定、ディスプレイタイマー、リブート設定、オリエンテーションなど各種設定が可能になります。

「Device Details」の「Settings」タブを選択後、メニュー右上の「Edit」をクリックし、設定後に、メニュー右上の「Apply」をクリックして終了です。

主な設定内容について、以下に記載しますが、他の設定も同様に行って下さい。

**但し、オンライン(アイコン色が緑)の状態でしか、実行できません。**

- 1) Device リスト画面を表示し、「Device Name」等をクリックします。

1 Device



Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

- 2) 各デバイスの Device Details 画面を表示し、「Software」タブを選択します。

The screenshot shows the 'Device Details' page for device '10/PM2113'. The left sidebar has tabs for 'Device Details', 'Info', 'Settings', and 'Software'. The 'Software' tab is highlighted with a red box. The main content area shows device information: Device Name (10/PM2113), Serial Number (C213A40075), Software Version (NA), Site Address (JP). Below this, under the 'Device' section, there are fields for Device Name (10/PM2113), Group Name (TPS), Site Name (NA), and Site Contact (Masahiro Tsumura, masahiro.tsumura8503@gmail.com).

- 3) Software 画面右上の「Edit」をクリックします。

The screenshot shows the 'Software' page for device '10/PM2113'. The left sidebar has tabs for 'Device Details', 'Info', 'Settings', and 'Software'. The 'Software' tab is highlighted with a red box. The main content area shows software details: Version (NA), OS Update (NA), Last Updated (NA), Log Storage (144MB). At the top right, there are buttons for 'Upload Log' and 'Edit'. The 'Edit' button is highlighted with a red box.

- 4) OS アップデート画面が表示されます。

以下は最新版の例「Device is up to date」ですが、アップデート可能な場合は、「Update Available」などのように表示されますので、「OS Update」右のギアマークをクリックして下さい

The screenshot shows the 'Edit Log Storage' page. It displays log storage information: Version (5.000.029.0041+p), OS Update (Device is up to date), Last Updated (11/17/2023 9:08:23 AM), and Log Storage (144MB). The 'OS Update' section is highlighted with a red box, showing a gear icon next to the text 'Device is up to date'.

5) 「Update available」下のプルダウンから、アップデートするバージョンを選択して、右上の「Confirm」をクリックして下さい。

Available Versions \*

OTA Size: -

Schedule Update

Enable Custom URL Path

**Confirm**

備考)「Schedule Update」を選択し、アップデートをスケジュールすることもできます。

- 6) 確認のメニューが表示されますので、「Yes」をクリックする。
- 7) 「Downloading」が始まるなどを確認してください。
- 8) ダウンロードが完了すると、自動的にデバイスが再起動されます。
- 9) 最後に選択したバージョンであることを確認して、完了です。

### 3.5 Reboot Timer

以下は、個別デバイスに設定する手順です。

「Devices」アイコンをクリックして、表示されるデバイスの Serial Number などをクリックすると個別デバイスの「Device Details」が表示されます。左側に表示されている「Reboot Timer」タブを選択すると、定期的にリブートを実行する時間を設定することができます。

#### 1) Device リスト画面

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

#### 2) 各デバイスの Device Details 画面

Device Details	Device Name 10/PM2113	Serial Number C213A40075	Software Version NA	Site Address JP
<b>Info</b>	<b>Device</b>	<b>Site Address</b>		
Settings	Device Name 10/PM2113	Group Name TPS	Site Name NA	Site Contact Masahiro Tsumura masahiro.tsumura85030@gmail.com
Software	Serial Number C213A40075	Device Model --	Address 1-19-20 SUNHAMADA BLDG ShinYokohama, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa, 2220033, Japan	045-478-2161
Whitelist	Device Model Descriptor --			
<b>Reboot Timer</b>				

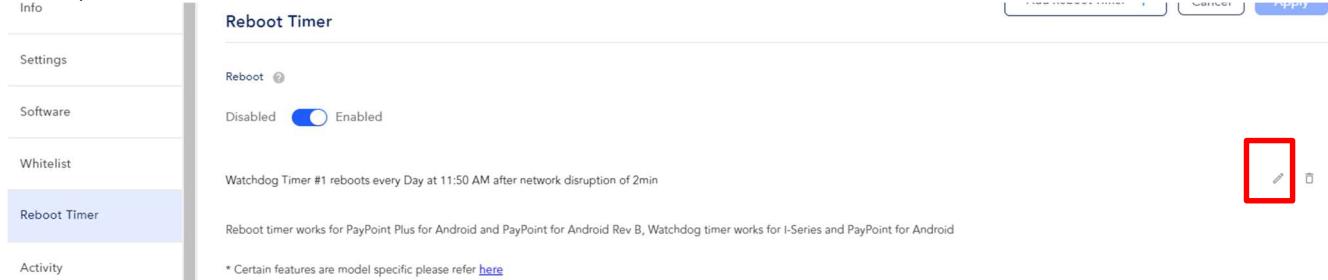
#### 3) Reboot Timer タブ選択画面

右上の「Edit」をクリックします。

Device Details	Device Name 1511a12	Serial Number G213A50737	Software Version 6.000.014.0014+p	Site Address JP
<b>Info</b>	<b>Reboot Timer</b>	<b>Edit</b>		
Settings	Reboot ⓘ			
Software	Enabled			

#### 4) Reboot Timer 設定画面

a) 右側の鉛筆アイコンをクリックします。



b) 以下のように表示されますので、「After network disruption」のチェックマークを外します。

Reboot Timer's Name	Reboots every	At
Watchdog Timer #1	Day	11:50 AM
<input checked="" type="checkbox"/> After network disruption of		
2	Minute	
<input type="checkbox"/> Reset data before reboot		

c) リブート頻度及び時間を設定し、右下の「Save」をクリックします。

Reboot Timer's Name	Reboots every	At
Watchdog Timer #1	Day	09:30 AM
<input type="checkbox"/> After network disruption of		
<input type="checkbox"/> Reset data before reboot		

A blue curved arrow points from the 'At' field in the table to the 'Save' button in the bottom right corner.

d) 右上の「Apply」をクリックします。

Info	Reboot Timer	Add Reboot Timer +
Settings	Reboot	Cancel
Software	Disabled	<input type="button" value="Apply"/>
Whitelist		
Reboot Timer	Enabled	
Activity	Watchdog Timer #1 reboots every Day at 9:30 AM	

e) 以下のように正しく設定されていることを確認後、終了です。

## 3.6 グループ管理/フィルター管理/タグ管理

### 3.6.1 グループ登録

注意)同一グループで管理する場合、デバイス数は 15,000 台以下にする必要があります。

備考)グループ登録は 3.3.1 の csv ファイルを用いた手順でも可能です。

- 1) 「Devices」アイコンをクリックして、デバイスリスト画面を表示し、「Device Group」右の「+」アイコンをクリックする。

The screenshot shows the 'Device Groups' section of the management interface. On the left, there are filters for 'Filters' (No Filters added), 'Tags' (No Tags added), and 'Device Groups' (with a search icon and a red box around the '+' icon). The main area displays a table titled '1 Device' with one entry: 10/PM2113, C213A40075, NA, NA, NA, NA, NA, NA. At the top right are buttons for 'Schedule' and 'Deploy Now'. A green checkmark icon is also present.

- 2) 「Create New Group」の設定画面が表示されるので、英数字及び記号でグループ名を入力し、右下の「Save」をクリックします。  
例は Elo-Japan

#### Create New Group

The dialog box has a 'Group Name' field containing 'Elo-Japan' (highlighted with a red box) and a 'Save' button (also highlighted with a red box). A blue arrow points from the 'Elo-Japan' text field to the 'Save' button.

- 3) 「Device Groups」に、設定したグループ名が追加されたことを確認する。例は Elo -Japan

The screenshot shows the 'Device Groups' list. It contains two items: 'TPS' (0 devices) and 'Elo-Japan' (0 devices). The 'Elo-Japan' item is highlighted with a red box.

4) このグループに登録するデバイスを選択し、「Elo-Japan」のグループアイコンまでドラッグ&ドロップする。

The screenshot shows the 'Device Groups' section of the interface. A blue arrow points from the 'Elo-Japan' group icon in the sidebar to the 'Content' column of the selected device row in the main table.

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	NA	NA	NA		NA	

**Device Groups**

Group Name	Count
Elo-Japan	0

5) 以下のように確認のメッセージが表示されるので、「Yes」をクリックする。



The group attributes will override Inheritable attributes of device and it may reboot your device(s). Are you sure you want to Add the device to the group?

6) デバイスアイコンや「Device Groups」クリックし、リフレッシュ後、グループに登録したと登録されていることを確認し、終了。

Filters

The screenshot shows the 'Device Groups' section. The 'Elo-Japan' group is highlighted with a red box. The 'Group Name' column for the device row also has a red box around it, indicating the successful addition.

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name
<input type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	Elo-Japan

**Device Groups**

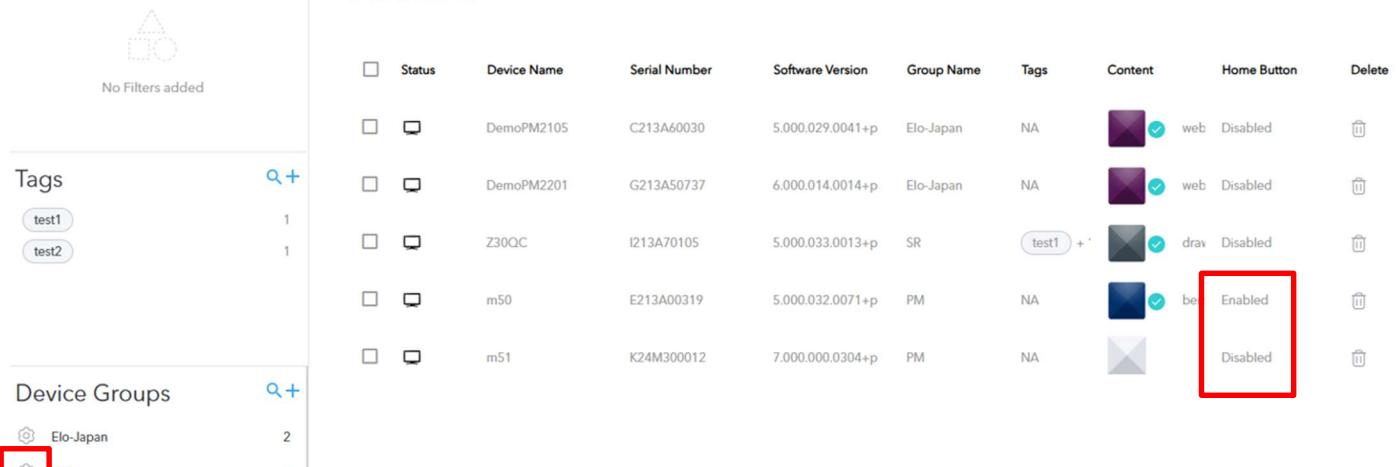
Group Name	Count
Elo-Japan	1

### 3.6.2 Gr 管理での各種設定

以下の例は、「Settings」のメニューで、「Power Button」を Enable にする手順です。

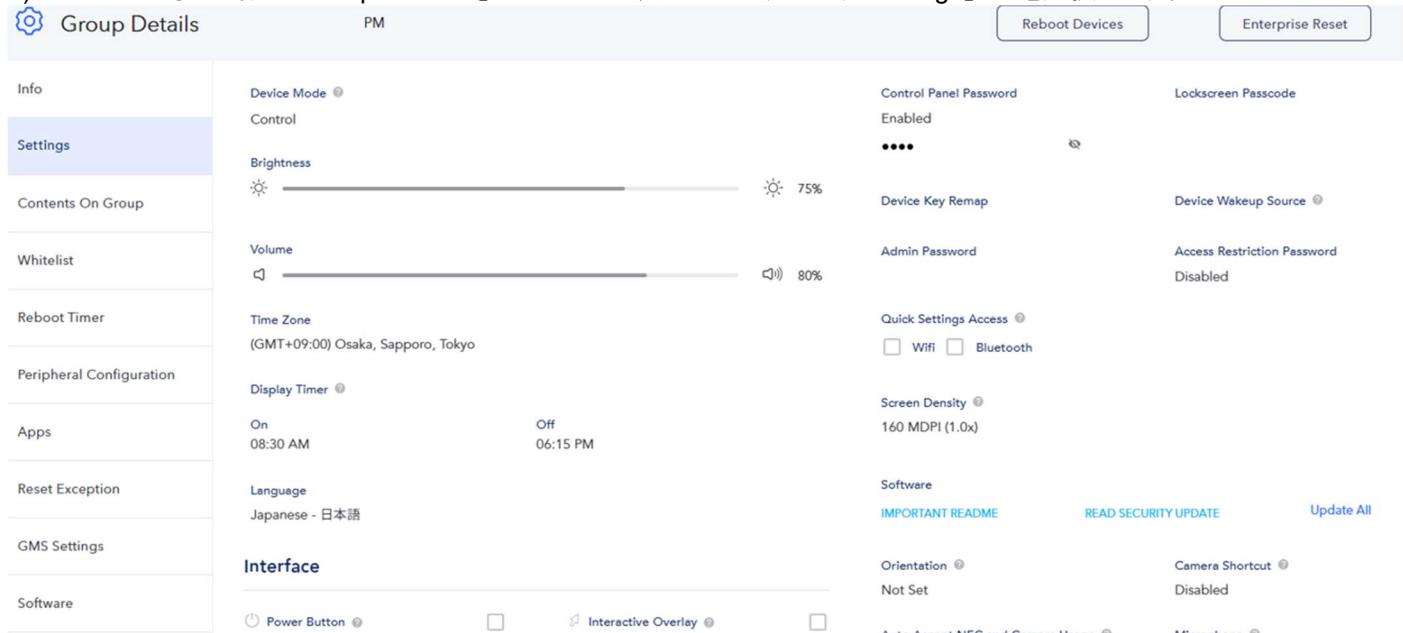
変更前の Home Button は m50 は Enable で、m51 が Disable になっています。

- 1) 「Device Groups」の 管理したい Gr のギアマークをクリックします。(例は PM)



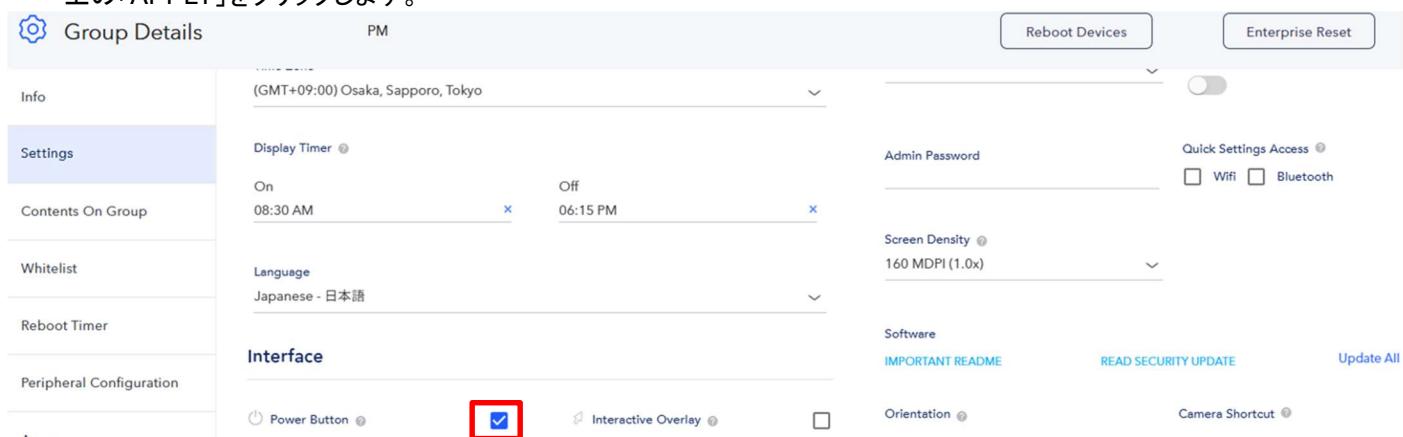
5 Devices									
	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	Home Button	Delete
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DemoPM2105	C213A60030	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA		web	Disabled
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	DemoPM2201	G213A50737	6.000.014.0014+p	Elo-Japan	NA		web	Disabled
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Z30QC	I213A70105	5.000.033.0013+p	SR	<input type="button" value="test1"/> + ·		draw	Disabled
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	m50	E213A00319	5.000.032.0071+p	PM	NA		be	Enabled
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	m51	K24M300012	7.000.000.0304+p	PM	NA			Disabled

- 2) デバイス毎と同様に「Groups Details」のメニューが表示されますので、「Settings」タブを選択します。



Group Details		PM	Reboot Devices	Enterprise Reset
Info	Device Mode	Control	Control Panel Password	Lockscreen Passcode
Settings	Brightness	75%	Enabled	••••
Contents On Group	Volume	80%	Device Key Remap	Device Wakeup Source
Whitelist	Time Zone	(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo	Admin Password	Access Restriction Password
Reboot Timer	Display Timer	On 08:30 AM Off 06:15 PM	Quick Settings Access	Disabled
Peripheral Configuration	Language	Japanese - 日本語	Screen Density	160 MDPI (1.0x)
Apps	Interface		Software	IMPORTANT README READ SECURITY UPDATE Update All
Reset Exception	Power Button	<input type="checkbox"/>	Orientation	Not Set
GMS Settings	Interactive Overlay	<input type="checkbox"/>	Camera Shortcut	Disabled
Software		<input type="checkbox"/>	Auto Accept NFC and Camera Usage	<input type="checkbox"/>
			Microphone	<input type="checkbox"/>

- 3) 「Power Button」のステータス変更のために、右上の「EDIT」をクリックし、「Power Button」右のボックスをチェックし、右上の「APPLY」をクリックします。

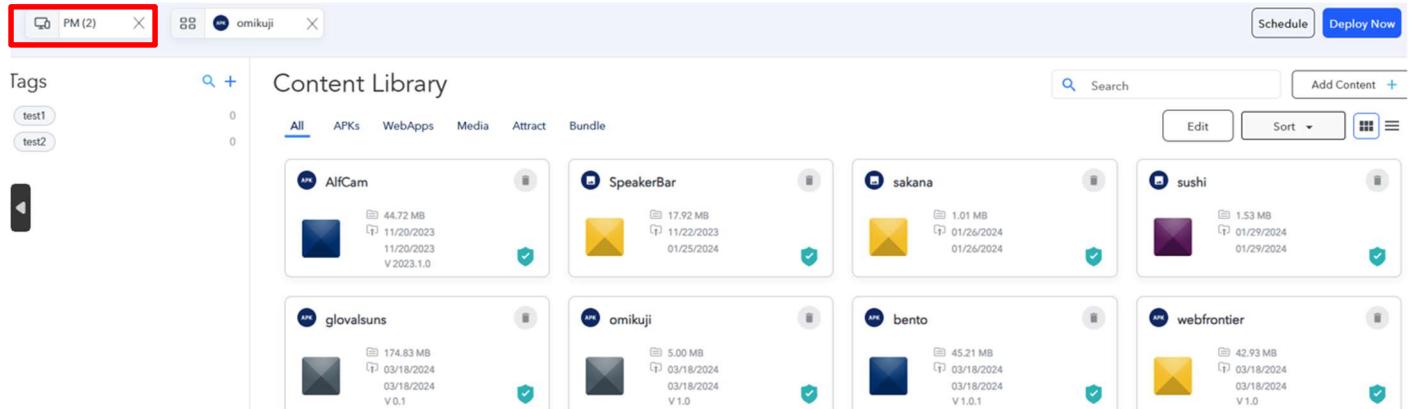


Group Details		PM	Reboot Devices	Enterprise Reset
Info	Time Zone	(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo	Quick Settings Access	Enabled
Settings	Display Timer	On 08:30 AM Off 06:15 PM	Admin Password	••••
Contents On Group	Language	Japanese - 日本語	Screen Density	160 MDPI (1.0x)
Whitelist	Interface		Software	IMPORTANT README READ SECURITY UPDATE Update All
Reboot Timer	Power Button	<input checked="" type="checkbox"/>	Orientation	Not Set
Peripheral Configuration	Interactive Overlay	<input type="checkbox"/>	Camera Shortcut	Disabled
Apps		<input type="checkbox"/>	Auto Accept NFC and Camera Usage	<input type="checkbox"/>
Reset Exception			Microphone	<input type="checkbox"/>

4) 再度デバイス画面を表示させると、Power Button の Status が m50、m51 とも Enabled に変わっていることが確認できます。

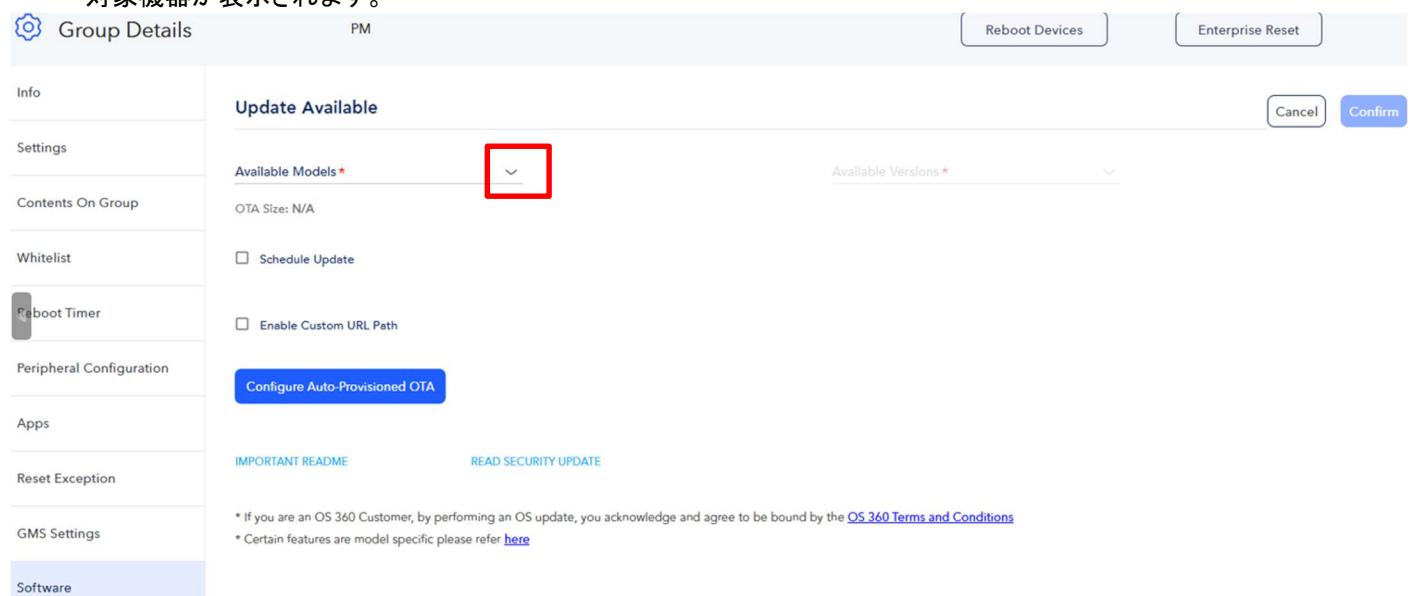
m50	E213A00319	5.000.032.0071+p	PM	NA	  ben	Enabled
m51	K24M300012	7.000.000.0304+p	PM	NA		Enabled

a) コンテンツ配信の場合は、デバイスのアイコンではなく、Gr のアイコンをドラッグ&ドロップすることにより、Gr 一括配信が可能です。(例は PM の 2 台)



The screenshot shows the Content Library interface. At the top left, there is a selection bar for 'PM (2)' which is highlighted with a red box. The main area displays a grid of eight content items, each with a small device icon, a name, file size, and upload date. The items are: AlfCam, SpeakerBar, sakana, sushi, glovalsuns, omikuji, bento, and webfrontier. Each item has a green checkmark icon indicating it is ready for deployment.

b) ソフトウェアのアップデートの場合も、同様に一括でアップデートすることができます。右の V アイコンをクリックすると対象機器が表示されます。



The screenshot shows the Group Details page under the Software tab. On the left, there is a sidebar with various settings sections. In the main area, there is a section titled 'Update Available' with a dropdown menu labeled 'Available Models \*'. A red box highlights this dropdown menu. Below it, there are two checkboxes: 'Schedule Update' and 'Enable Custom URL Path'. At the bottom, there are links for 'IMPORTANT README' and 'READ SECURITY UPDATE', and some legal disclaimers.

但し、一部オフラインだったり、通信に問題があった場合に、一部デバイスはエラーとなってしまう場合がありますので、うまく実行できたかは、確認を行ってください。

### 3.6.3 Filter による管理

- 1) Device リスト画面で、左上の「Search」をクリックするとサーチ画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Device' section of the interface. On the left, there are 'Filters' and 'Tags' sections. The 'Filters' section has a 'No Filters added' message with a gear icon. The 'Tags' section also has a 'No Tags added' message with a plus sign icon. The main area displays a table titled '1 Device' with one row containing information about a device named '10/PM2113'. The table columns are: Status, Device Name, Serial Number, Software Version, Group Name, Tags, and Content. A delete icon is located at the end of the device row.

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content
<input type="checkbox"/>	10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA	

- 2) 「Attributes and Operators」で、「Group」などの Filter する項目が表示されますので、一括管理に利用ください。

The screenshot shows the 'Attributes and Operators' search interface. At the top, there is a search bar and filter icons. Below it, a 'Devices' section shows 'See 1 Results'. The main area is titled 'Attributes and Operators' and contains two rows of buttons: 'Attributes' (Group, Name, Serial, Location, OS Version, CustomKey, CustomValue, NowPlaying, Content, Sitename, Timezone, Tags) and 'Operators' (AND, OR, NOT, IN, AND NOT, OR NOT).

### 3.6.4 Tag による管理

デバイスやアプリケーションに「Tag」を設定すると、管理が容易になります。

選択した Device を「Tags」内に希望するタグのアイコンにドラッグ & ドロップすることにより、設定できます。(例は rev.B)

The screenshot shows the 'Device' section with 7 devices listed. The 'Tags' section on the left shows a 'rev.B' tag. A blue arrow points from the 'rev.B' tag to a device row in the list. The device row for '10i1ver2' is highlighted with a red box. This row includes a checkbox, a monitor icon, the device name '10i1ver2', serial number 'C183009618', software version '3.64.87', group name 'SR', and a 'rev.B' tag icon. Another device row for '10ver3' is partially visible below it.

備考)以下のように複数のタグに設定できます。

The screenshot shows the 'Device Details' interface. On the left is a sidebar with various settings like 'Software', 'Whitelist', and 'Activity'. The main area is divided into sections: 'Device' (Device Name: FAE2429, Serial Number: B223A60367, Model: i4\_in22\_std), 'Last Reboot' (21 days ago, 10:08 AM), 'Last Firmware Update' (12/11/2024 3:29:11 PM), and 'Tags'. Under 'Tags', there are two tags: 'rev.D' and 'wallaby'. A red bracket highlights the 'Tags' section.

予め、「Tags」に登録されている場合は、デバイス登録時の CSV ファイルの「Tags」に記載すれば、設定できます。

*Device Mode	*Device Name	*Serial Number	Firmw	Addre	City	State	Postal	Count	Tags	Site N	Time Zone	Group
Control	10/PM2113	C213A40075								Asia/Tokyo	TPS	

登録するアプリケーションにも Tag をつけることができます。

The screenshot shows the 'Content Details' interface. On the left is a sidebar with 'Content Properties' and 'Content Deployment Details'. The main area is divided into sections: 'General' (Content Name: Webfronter\_sushi, Description: demo, Content Type: Attract, Task Status: Disabled, Created Date: 01/30/2024 2:19:58 AM, Updated Date: 07/22/2025 12:32:10 PM, Content Icon: a red sushi icon) and 'Tags'. Under 'Tags', there are two tags: 'demo\_att' and 'demo\_APKapp'. A red bracket highlights the 'Tags' section.

### 3.7 登録 Device 情報一括出力

#### 3.7.1 Device 情報のファイル出力

1) デバイスリスト画面右の ノートタブ  をクリックする。



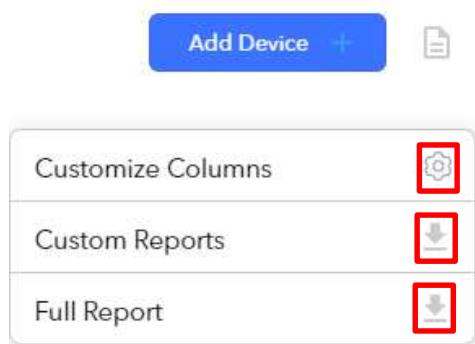
1 Device

Add Device +



<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	Elo-Japan	NA		NA	

- 3) 以下のように、メニューが表示されますので、設定された一部のリストの場合は「Custom Reports」の右のダウンロードアイコンを、全てのリストの場合は、「Full Report」の右のダウンロードアイコンをクリックして、csv ファイルを出力する。  
また、「Custom Reports」の項目を変更する場合は、「Customize Columns」右のギアマークをクリックして、項目を変更してください。



以下が「Custom Reports」の「例です。

serial	Tags	osVersion	deviceModel	currentPlan	online	deviceName	groupNames	os360
C213A400	--	5.000.029.	control	{contentS	TRUE	10/PM211	Elo-Japan	--

## 4. コンテンツ関係(Content)

**注意)登録可能な各ファイルのサイズは最大 2GMB で、ファイル数は 370 です。**

ファイル名に日本語は使用しないで下さい。(アルファベットあるいは数字などを使用して下さい。)

インストール可能なコンテンツは **APK**, **Web アプリ(URL)**, **Media(静止画,mp4(動画))** の 3 種類です。(但し、“Multi App”モードでは **APK** のみ登録可)

**備考)** 静止画は **jpeg,png,pdf,txt** を **zip** にしたもの(圧縮方法は **Deflate** あるいは非圧縮で、解凍時に各ファイルがルートに配置されるようにする)です。

**注意)** 同一アカウントで、upload 済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver 名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。

また、上記を組み合わせて登録することができます。

- a) “ATTRACT”(Attract loop): Primary コンテンツが、設定されたタイムアウト後、Secondary コンテンツに切り替わり、画面タッチで再度 Primary コンテンツに切り替わる。(メインアプリと待ち受け画面の切り替えとして利用)
- b) “Bundle”: フォアグラウンド以外に、カメラ取得データのクラウドへの送信などの最大 5 つのバックグラウンドコンテンツが登録可能で、選択したコンテンツを動作させることができます。

### 4.1 アプリケーション/コンテンツのアップロード

#### 4.1.1 単独コンテンツのアップロード

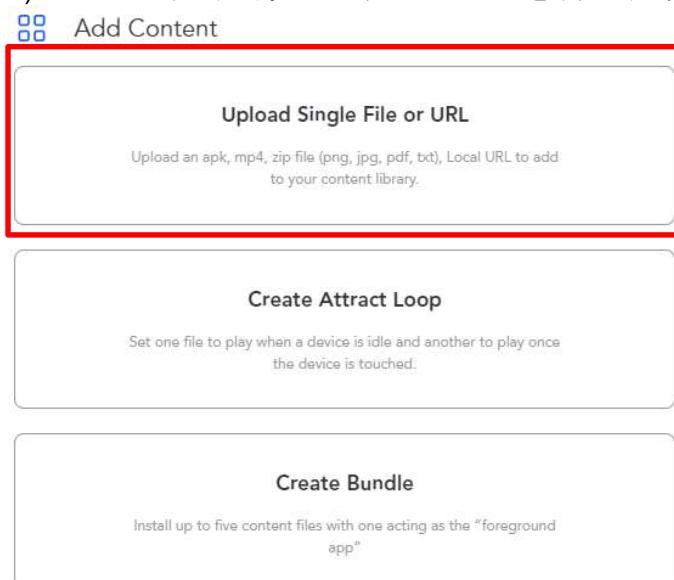
##### 4.1.1.1 Android アプリ、Web アプリ、Web アプリ及び動画(mp4)、Zip 化した PDF,jpeg,png などの静止画



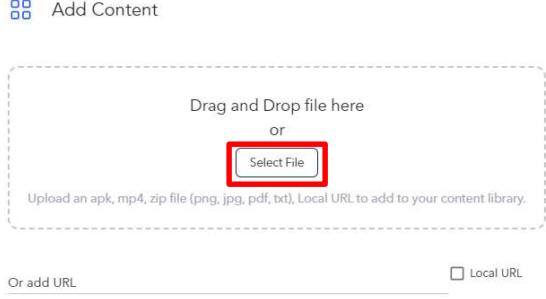
- 1) 「CONTENT」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



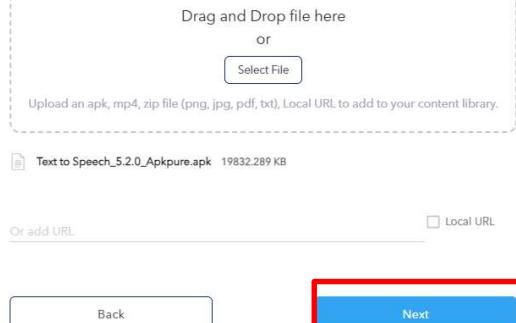
- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。



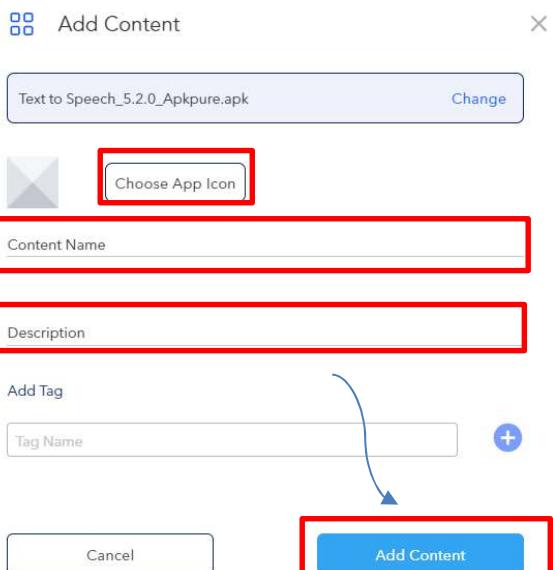
- 3) 以下のように表示された後、「Select File」をクリックする。但し、Web アプリでは URL を入力してください。



- 4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。



- 5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。



注意)同一アカウントで、upload済みの「Content Name」では同時に登録できませんので、ver.名を追加するなどしてファイル名を変更して登録して下さい。

また、異なる「Content Name」に変更して、バージョンの異なる APK を追加して登録する場合は、追加するバージョンの APK の「Version Code」設定を登録済みバージョンの APK より大きい数字に設定してください。

以下は Elo\_presentation.apk の例です。

Content メニューで、表示される「Content Library」のアプリのアイコンをダブルクリックし、「Content Details」で表示される「Version Code」です。

## Content Library

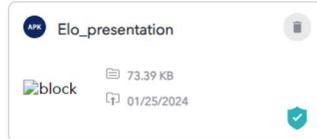
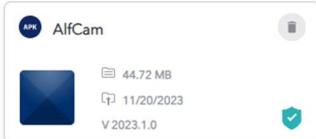
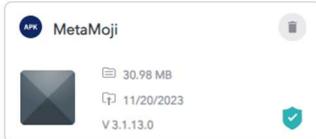
Search

Add Content +

All APKs WebApps Media Attract Bundle

Edit

Sort ▾



### Content Details

#### Content Properties

#### Content Deployments Detail

##### General

Content Name

Elo\_presentation

Description

demo

Package Name

com.elo.presentation

Version

1.0.1

Version Code

1

Content Type



New Task

Disabled

File Name

EloPresentation.apk

File Size

73.39 KB

Created Date

01/25/2024 10:29:47 AM

Updated Date

01/25/2024 10:29:51 AM

Content Icon



この APK の「Version Code」設定を変更できない場合は、Devices > Settings タブにある「Allow Content Downgrade」設定を Enable にして、右上にある「Apply」をクリックし、適用してください。

#### Device Details

Device Name

10/PM2113

Serial Number

C213A40075

Software Version

5.000.029.0041+p

Site Address

JP

#### Info

Power Button



Interactive Overlay



#### Settings

Home Button



Android Nav Bar



Virtual Keyboard



Touch Sound



Android Home



NTP URL

NTP URL

#### Software

#### Network

Last Connected WiFi LAN Mobile

✓ 10.50.1.70 ✓ 1C:EE:C9:24:34:FE

#### Whitelist

Network Configuration



#### Reboot Timer

Wifi

#### Activity



#### Contents On Device

Auto Correct

#### Apps



#### Reset Exception

Content Pinning

#### Peripheral Configuration



#### GMS Settings

DFS

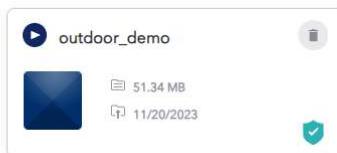
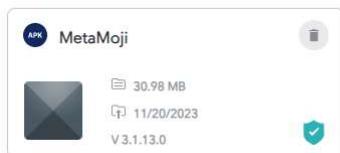


Allow Content Downgrade

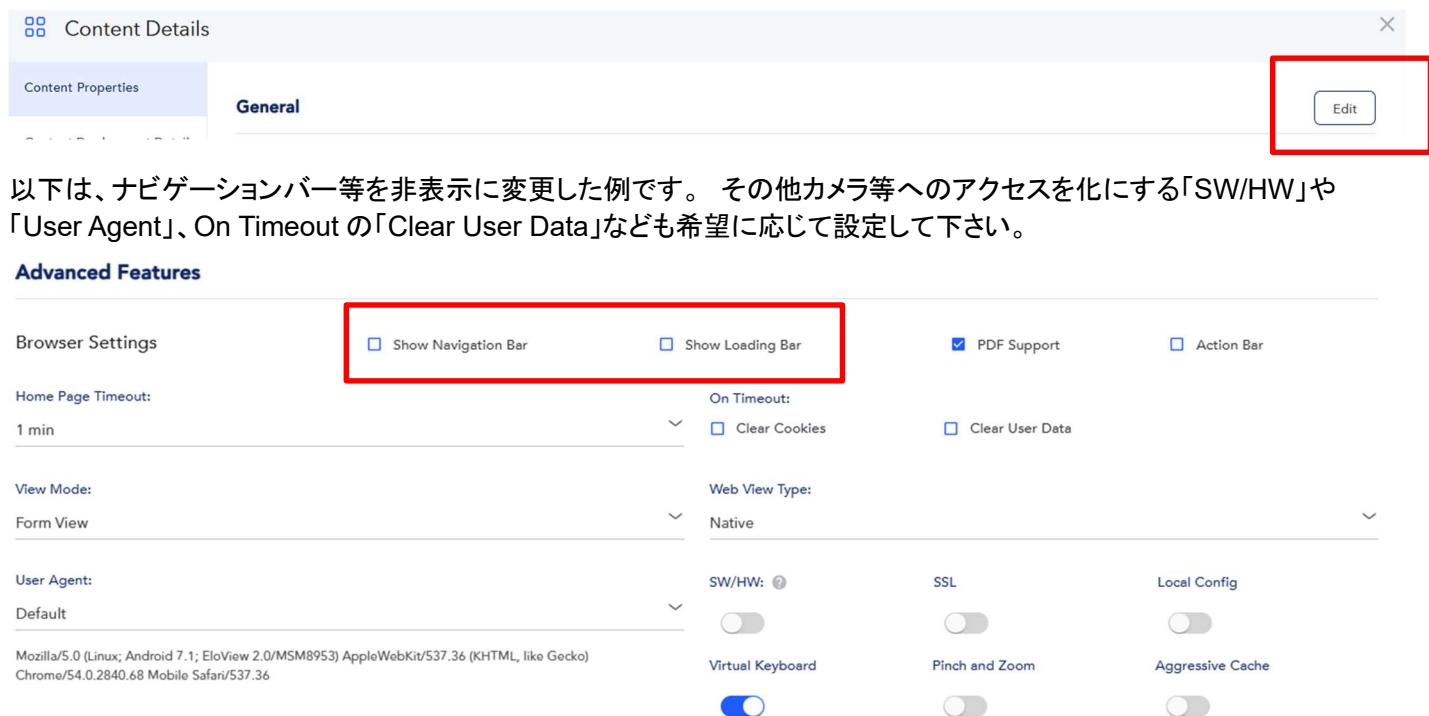


- 6) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが から に変わったことを確認して終了。

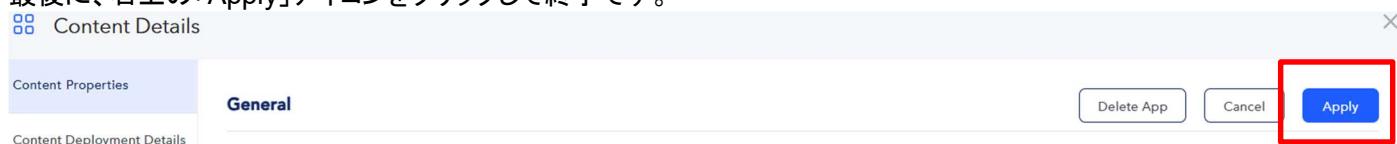
All APKs WebApps Media Attract Bundle



但し、Web アプリの場合は、デフォルト設定が ナビゲーションバーの表示であったり、他のコンテンツと対応が異なります。登録したアプリのアイコンをクリックし、以下の「Content Details」を表示し、右側の「Edit」クリックして、「Advanced Features」を変更することができます。



最後に、右上の「Apply」アイコンをクリックして終了です。



#### 4.1.1.2 ローカル Web アプリ

ローカル Web アプリの場合は、web サイト情報を含むすべての必要なファイル(HTML、JavaScript、CSS、画像、メディア)を、予め 1 つのファイルに Zip 化しておいてください。その際に、すべてのファイルはルートに保存して下さい。

(注意) PHP、Ruby などのサーバーサイドスクリプトはサポートされていません。

外部サーバーなどにアクセスする仕様の場合で、オフラインでも動作させたい場合は、ローカル Web サーバーを立てる等の対応を実施下さい。

- 1) 「CONTENT」 アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」 の右にある「Add Content +」をクリックします。



2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、1番上の「Upload Single File or URL」をクリックする。

Add Content

Upload Single File or URL

Upload an apk, mp4, zip file (png, jpg, pdf, txt), Local URL to add to your content library.

3) 以下のように表示された後、「Local URL」にチェックを入れた後、「Select File」をクリックしてください。

Add Content

Drag and Drop file here  
or  
Select File

Upload an apk, mp4, zip file (png, jpg, pdf, txt), Local URL to add to your content library.

Or add URL

http://  Local URL

4) アップロードするファイルを選択すると、以下のように表示されるので、「Next」をクリックする。

Add Content

Drag and Drop file here  
or  
Select File

Upload an apk, mp4, zip file (png, jpg, pdf, txt), Local URL to add to your content library.

todo-app.zip 1.709 KB

Or add URL

http://  Local URL

Back Next

5) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。

Add Content

todo-app.zip Change

Content Name

Enter Name

Set Home Page

Index.html

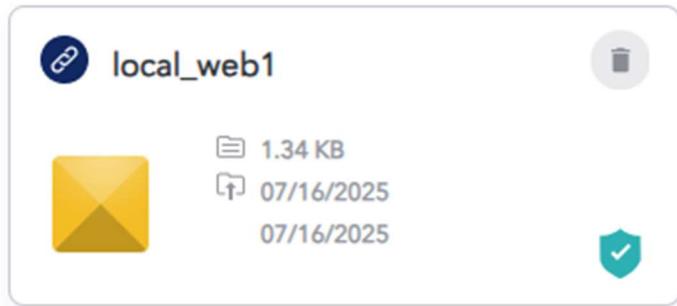
Description

Add Tag

Tag Name  +

Cancel Add Content

- 6) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  から  に変わったことを確認します。



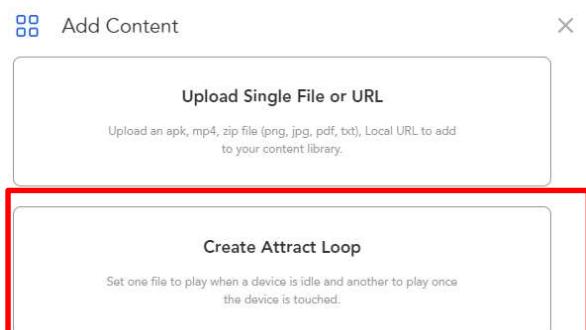
- 7) ローカル Web アプリも、Web アプリ同様に、「Advanced Features」を設定し、終了です。  
特に、ナビゲーションバーなどを非表示にする場合は、変更が必要です。

#### 4.1.2 Attract の登録

- 1) 「CONTENT」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2 番目の「Create Attract Loop」をクリックする。



- 3) 以下のように、「Primary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。  
(備考)「Primary」アプリは、画面にタッチした後に、実行されるメインアプリになります。

## Add Content

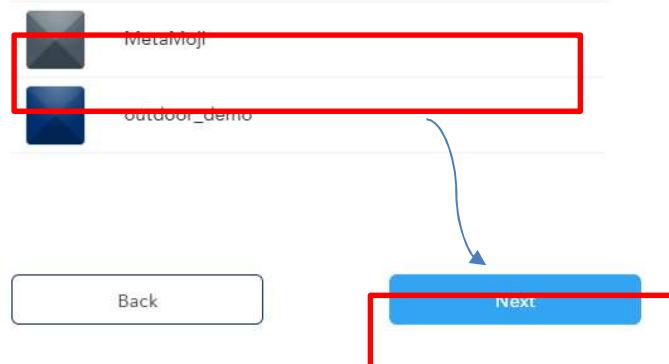
X

### Select Primary App

This is the main content that will play when the device is activated and in use.

All APKs WebApps Media

All



- 4) 以下のように、「Secondary」アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。  
備考)「Secondary」アプリは、タッチ動作がない状態で、設定した「Attract Timer」時間を経過した場合に実行されるコンテンツ(主に、動画や静止画)になります。

## Add Content

X

### Select Secondary App

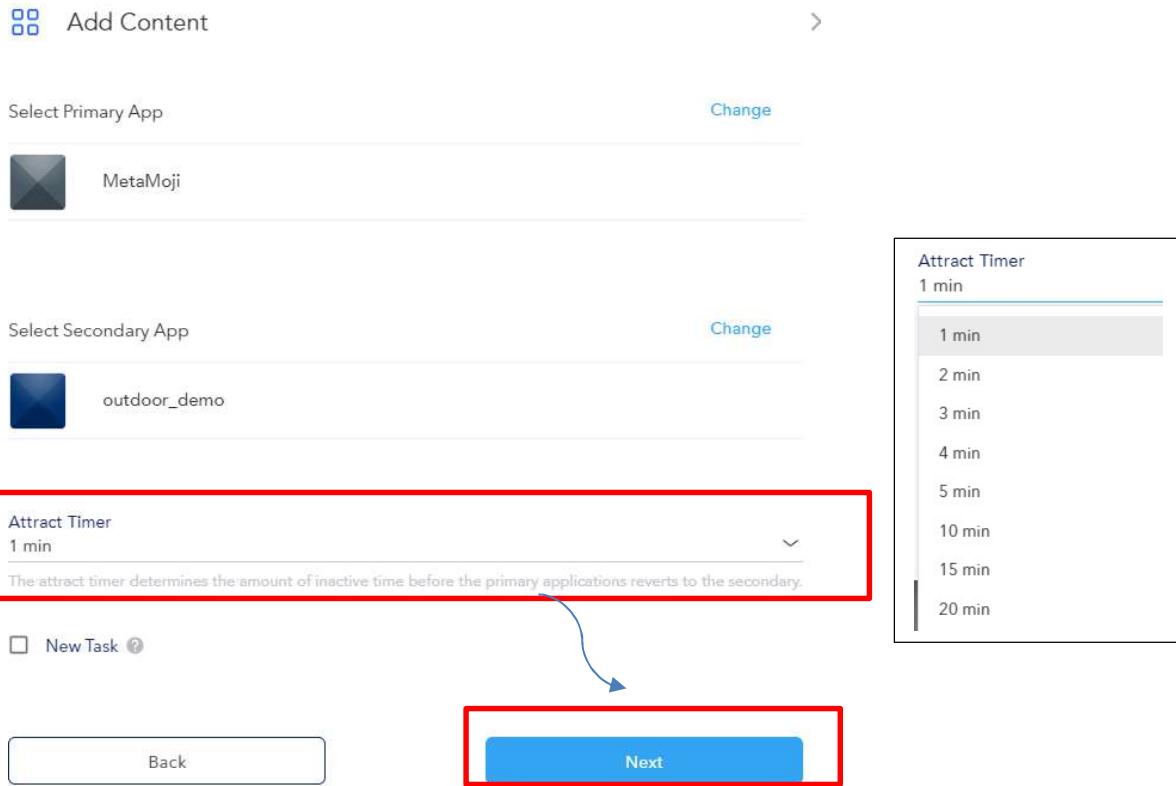
The content behaves like a screensaver and plays while the device is idle.

All APKs WebApps Media

All



- 5) 以下のように、表示されるので「Attract Timer」(「Primary」で設定時間放置後、「Secondary」にアプリが切り替わる時間)をプルダウンで選択し、「Next」をクリックする。



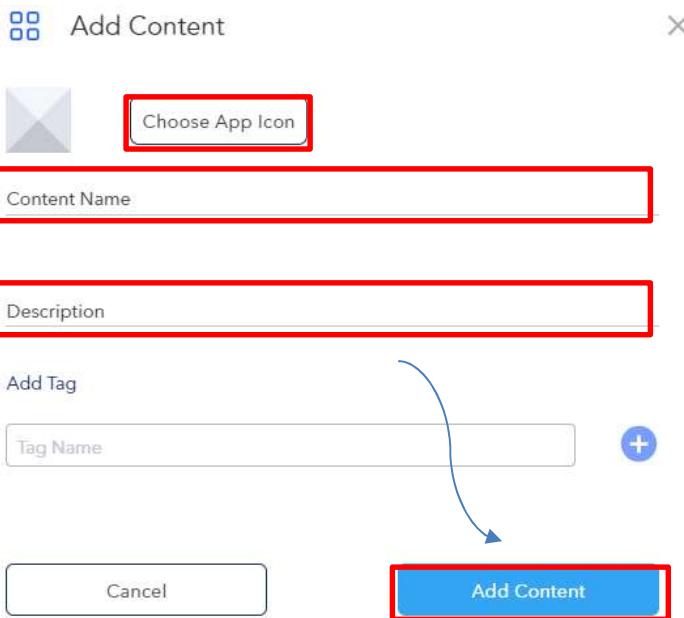
備考)「Secondary App」から「Primary App」に戻る場合、デフォルトでは、「Primary App」のデータはリセットされます。(アプリケーションの再起動)

Primary App にログインなどが必要な場合は、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力が求められます。

その場合、以下のように New Task (Attract Timer の下に配置) にチェックを入れると、Primary App のデータは維持され、Primary App に戻る毎に、ログイン情報の入力などは不要になります。

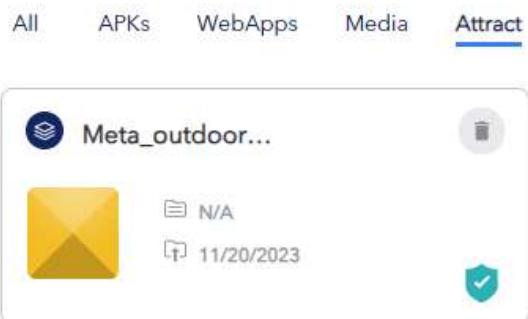


- 6) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。



- 8) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが  であることを確認して終了。

## Content Library



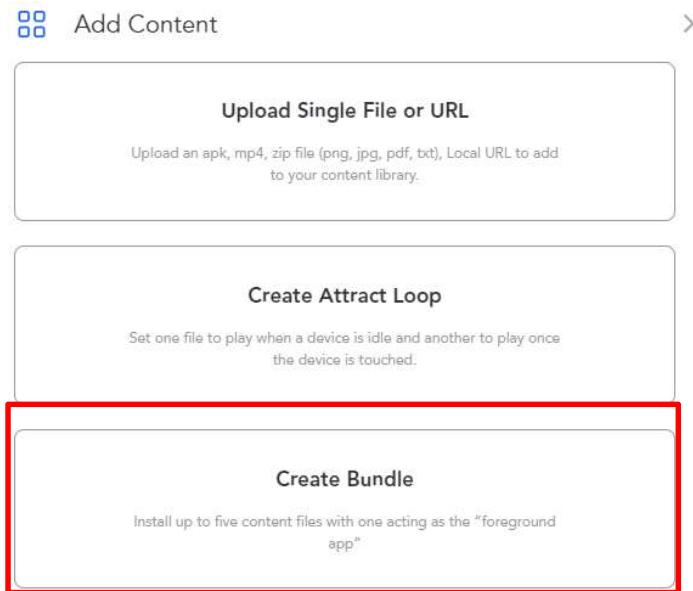
All    APKs    WebApps    Media    Attract    Bundle

#### 4.1.3 Bundle の登録

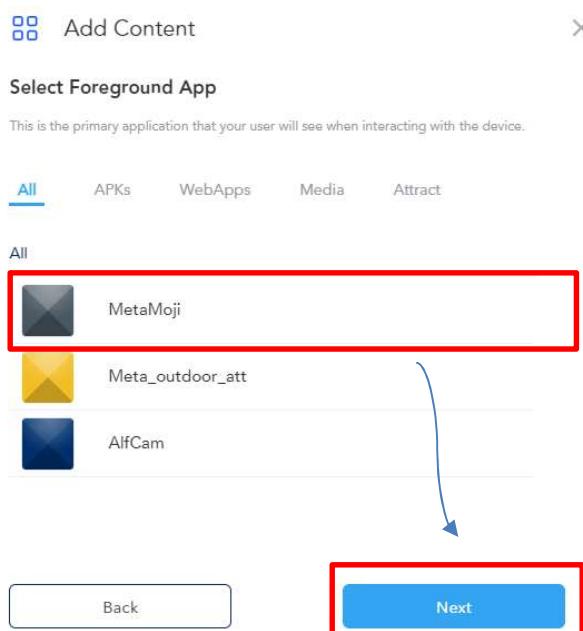
- 1) 「Content」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、「Content Library」の右にある「Add Content +」をクリックします。



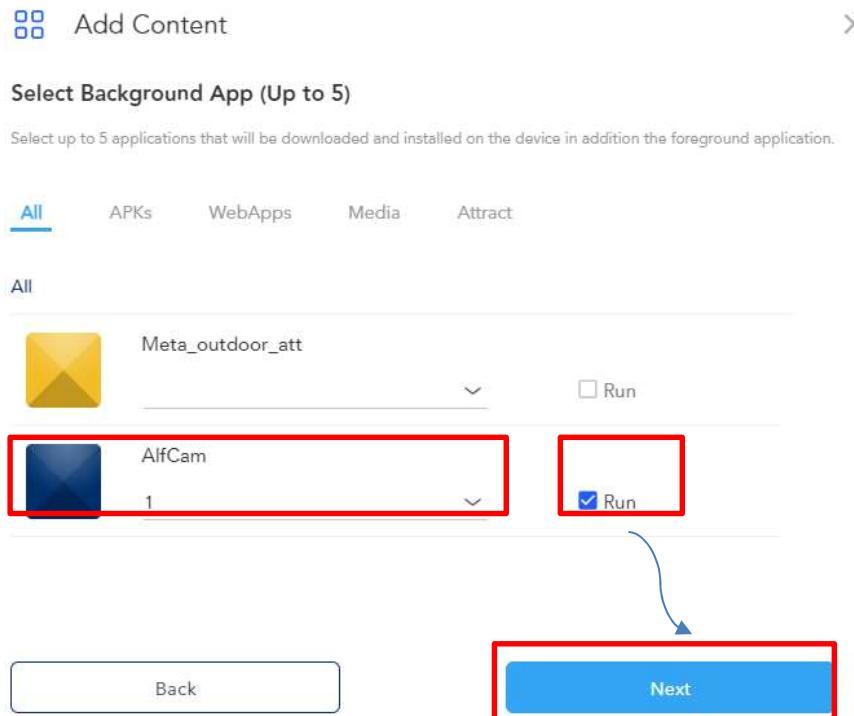
- 2) 以下のように、登録画面が表示されることを確認し、2番目の「Create Bundle」をクリックする。



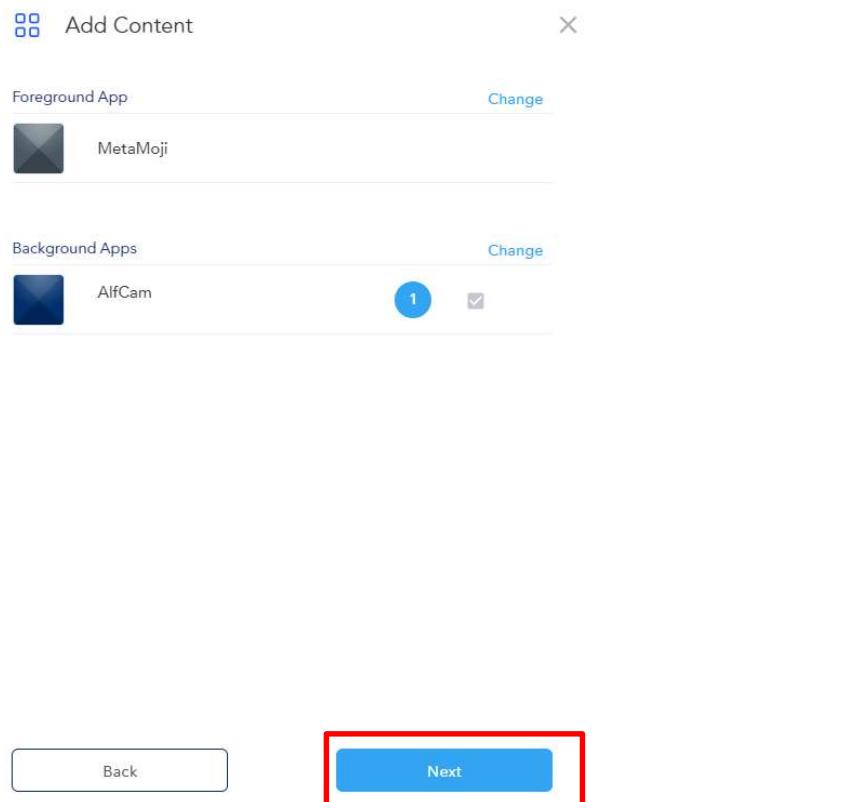
- 3) 以下のように、Foreground アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、「Next」をクリックする。



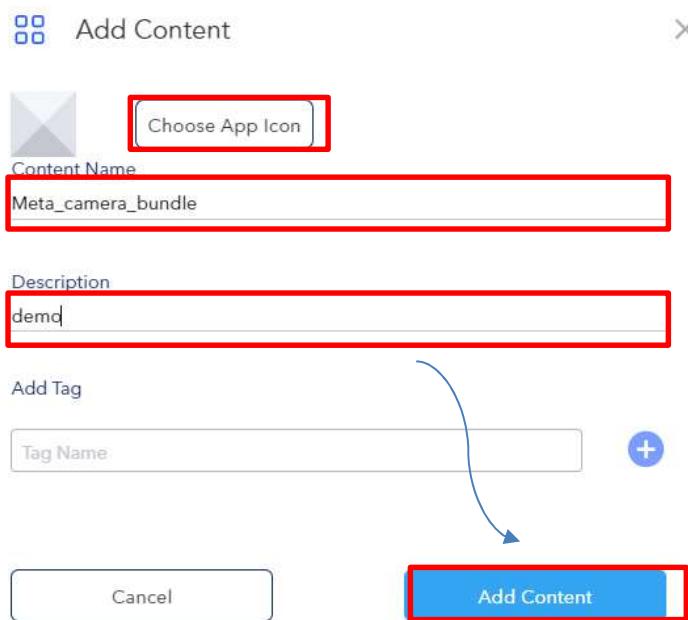
- 4) 以下のように、Background アプリの登録画面が表示されるので、コンテンツを選択し、順番の数字を選択し、「Run」にチェックを入れて、「Next」をクリックする。



- 5) 以下のように、設定したアプリが表示されるので、「Next」をクリックする。



- 7) 「Choose App Icon」で、識別しやすい静止画を選択することを推奨します。「Content Name」、「Description」を入力し、「Add Content」をクリックして EloView にアップロードします。Content Name にはバージョン等も含むと管理が容易になります。必要に応じて Tag も記載可能です。



- 9) コンテンツが追加されたことを確認し、右下のアイコンが であることを確認して終了。

## Content Library

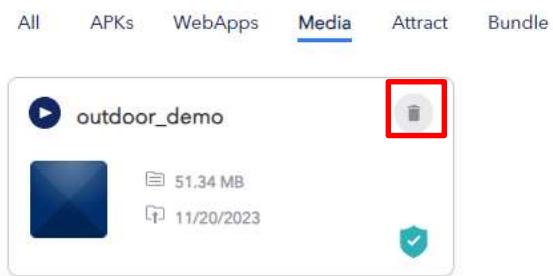
The screenshot shows the 'Content Library' interface. At the top, there are tabs: All, APKs, WebApps, Media, Attract, and Bundle. Below the tabs, a card displays a bundle named 'Meta\_camera\_...' with a camera icon. The card includes fields for 'N/A' and '11/21/2023'. To the right of the card is a green shield icon with a checkmark, indicating the content is protected or successfully added.

## 4.2 アプリケーション/コンテンツのアンインストール(削除)

### 4.2.1 EloView からの削除

- 1) 「Content」アイコン をクリックし、コンテンツ設定画面を表示し、削除するコンテンツ表示右上のゴミ箱アイコンをクリックします。

#### Content Library



- 2) 削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。

Selected below content is NOT associated with any device.

Do you want to delete this content?



- 3) 「Content Library」からコンテンツが削除されていることを確認して終了です。

#### Content Library



#### 4.2.2 デバイスからの削除

- 1) 「Devices」アイコン をクリックし、デバイスリスト画面を表示し、コンテンツアイコンの上に、マウスカーソルを移動します。

2 Devices

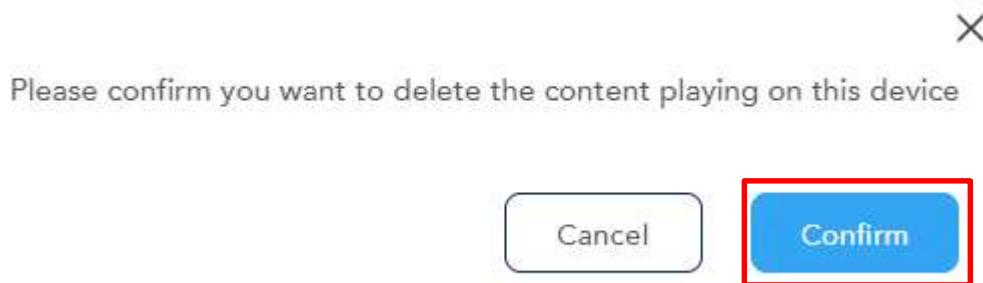
<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		Speaker...	

- 2) アイコン左上に、ゴミ箱アイコンが表示されますので、クリックします。

2 Devices

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		Speaker...	

- 3) 削除の確認メッセージが表示されますので、「Confirm」を選択します。



- 4) 削除したメッセージが表示され、Content アイコンが、消えて、右側のコンテンツ名も消えて終了です。

2 Devices

<input type="checkbox"/>	Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>		10/PM2113	C213A40075	5.000.029.0041+p	TPS	NA		NA	

#### 4.3 アプリケーション/コンテンツのデバイスへのインストール/削除

以下はデバイスへの適用になりますので、オンラインの状態で実施する必要があります。

##### 4.3.1 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツのインストール

###### 4.3.1.1 直ぐにインストールする場合

- 1) Device タブ をクリックし、Device がリストされている画面を表示し、インストールするデバイス(あるいはグループ)を選択し、上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。

The screenshot shows the 'Device' tab interface. At the top, there's a 'Deployment Bar' with 'Schedule' and 'Deploy Now' buttons. Below it is a 'Filters' section with a 'No Filters added' button. The main area is titled '1 Device' and lists one device: 10/PM2113 (Serial Number: C213A40075, Software Version: 5.000.029.0041+p, Group Name: Elo-Japan, Tags: NA). A red box highlights the '1 Device' button in the top-left corner.

- 2) Content タブ をクリックし、「Content Library」画面を表示し、インストールするコンテンツを上部の Deployment Bar 上にドラッグ&ドロップします。

The screenshot shows the 'Content Library' tab interface. At the top, there's a 'Deployment Bar' with 'Schedule' and 'Deploy Now' buttons. Below it is a 'Tags' section with a 'MetaMoji' tag selected. The main area is titled 'Content Library' and shows three items: 'MetaMoji' (APK, 30.98 MB, V3.1.13.0), 'Meta\_outdoor...' (Media, N/A), and 'AlfCam' (APK, 44.72 MB, V 2023.1.0). A red box highlights the 'MetaMoji' item in the list.

- 3) 「Deploy Now」アイコンをクリックします。

The screenshot shows the 'Content Library' tab again, but now the 'Deploy Now' button in the top right is highlighted with a red box. The rest of the interface is identical to the previous screenshot.

- 4) インストールの確認画面が、表示されますので。「Yes」をクリックします。

Are you sure you want to proceed with the deployment?



- 5) コンテンツがインストールされたメッセージが表示されますので、再度、デバイスタブをクリックし、コンテンツがインストールされていることを確認して、終了です。

1 Device

Add Device +



The screenshot shows the 'Device' tab again. The '1 Device' list now includes 'AlfCam' under the 'Content' column for the device 10/PM2113. A red box highlights the 'AlfCam' entry in the list.

#### 4.3.1.2 コンテンツの配布時間を遅らせて設定する場合(スケジュール)

- 1) デバイス及びコンテンツの選択は、4.3.1.1 直ぐにインストールする場合の 1)~2)までと同様に実施してください。
- 2) 「Schedule」アイコンを選択してください。

The screenshot shows the Content Library interface. At the top, there are tabs for Tags, Content Library, and a search bar. Below the search bar are buttons for 'Edit' and 'Sort'. A red box highlights the 'Schedule' button in the top right corner. In the center, there are three items listed: 'MetaMoji' (30.98 MB, 11/20/2023), 'Meta\_outdoor...' (N/A, 11/20/2023), and 'AlfCam' (44.72 MB, 11/20/2023). Each item has a small shield icon.

- 3) 以下のような画面が表示されますので、「Always」が選択されていることを確認後、日時を設定後、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。

The screenshot shows the 'Schedule Type' configuration screen. On the left, a red box highlights the 'Always' radio button and the 'Starts' section, which includes a date input field (04/04/2024) and a time input field (10:40). Below these are 'From' and 'AM/PM' buttons. On the right, the 'Summary' section displays the content details: Content Name (bento), Content Type (APK), and Schedule Type (Always). At the bottom right, there are 'Save Schedule' and 'Add To Deployment Package' buttons, with the latter being highlighted by a red box.

- 4) 以下の画面に戻ったら、右上の「Deploy Scheduled」アイコンをクリックします。

The screenshot shows the Content Library interface again, but now it indicates a scheduled deployment. The top bar shows '1 Device' and '10:40 AM Apr 4th'. The 'Deploy Scheduled' button in the top right corner is highlighted with a red box.

- 5) 以下のように確認の画面が表示されますので、「Yes」をクリックします。

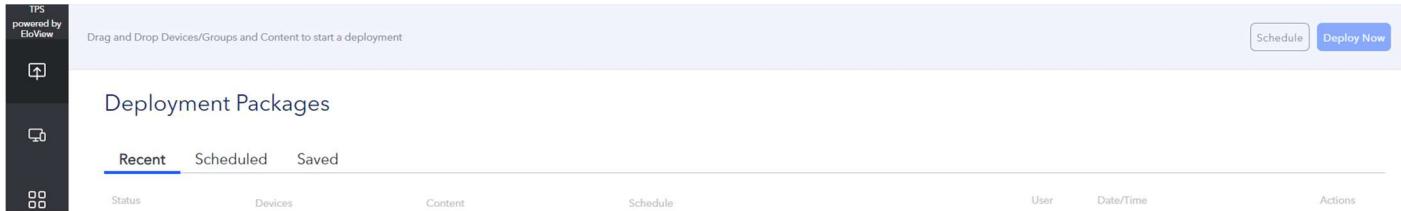


- 6) メニュー左上の「Deployment」アイコンをクリックし、「Deployment Packages」が表示され、「Scheduled」タブ内に、インストールする予定のコンテンツの情報が表示されていることを確認して終了です。  
Deployment Packages

The screenshot shows the 'Deployment Packages' screen. At the top, there are tabs for 'Recent', 'Scheduled' (which is highlighted with a blue underline), and 'Saved'. Below the tabs, there are sections for 'Status', 'Devices', 'Content', 'Schedule', 'User', 'Date/Time', and 'Actions'. Under 'Content', it shows '1 Device' (sakana). Under 'Schedule', it shows '10:55 AM - Apr 4'. At the bottom, there is a summary row with 'MT', '04/04/2024 - 10:42:50 AM', and icons for edit, delete, and refresh.

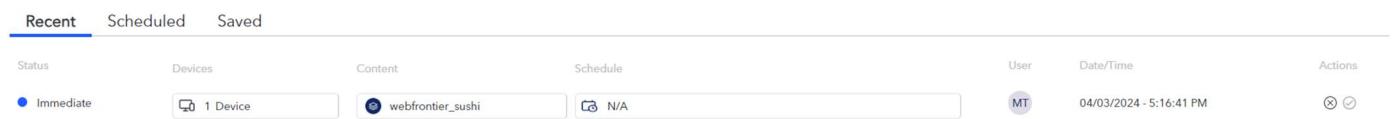
#### 4.3.1.3 アプリ／コンテンツ配布状況を確認(Deployment Packages)

- 1) メニュー左上の「Deployment」アイコン  をクリックすると、以下のような「Deployment Packages」が表示されます。



The screenshot shows the 'Deployment Packages' interface. At the top, there's a header with 'Powered by EloView' and a 'Schedule' button. Below it is a search bar with 'Drag and Drop Devices/Groups and Content to start a deployment'. The main area is titled 'Deployment Packages' with tabs for 'Recent', 'Scheduled', and 'Saved'. Under 'Recent', there are columns for 'Status' (Immediate), 'Devices' (1 Device), 'Content' (webfrontier\_sushi), 'Schedule' (N/A), 'User' (MT), 'Date/Time' (04/03/2024 - 5:16:41 PM), and 'Actions' (an 'X' icon). A tooltip 'Deployment Packages' is shown above the interface.

- 2) 「Recent」ダブを選択すると「Deploy Now」で配布された内に、インストールしたコンテンツの情報が表示されています。  
Deployment Packages



This screenshot is identical to the one above, showing the 'Recent' tab selected in the 'Deployment Packages' interface. It displays a single entry for 'webfrontier\_sushi' scheduled for immediate deployment to one device.

- 3) 「Scheduled」ダブを選択すると 4.3.1.2 で「Deploy Scheduled」で時間を遅らせて配布設定したコンテンツが表示されます。  
4) 「Saved」ダブを選択すると 4.3.1.2 で「Save Schedule」を選択した場合のコンテンツが表示されます。

(注意) 右側に表示されている Actions の下の  をクリックし、「Deployment Packages」の登録情報を削除した場合、そのコンテンツはデバイスから削除されますので、注意してください。

Date/Time

Actions

04/03/2024 - 5:16:41 PM

誤って  をクリックした場合は、以下の削除確認メッセージが表示された場合、「Cancel」をクリックしてください。

X

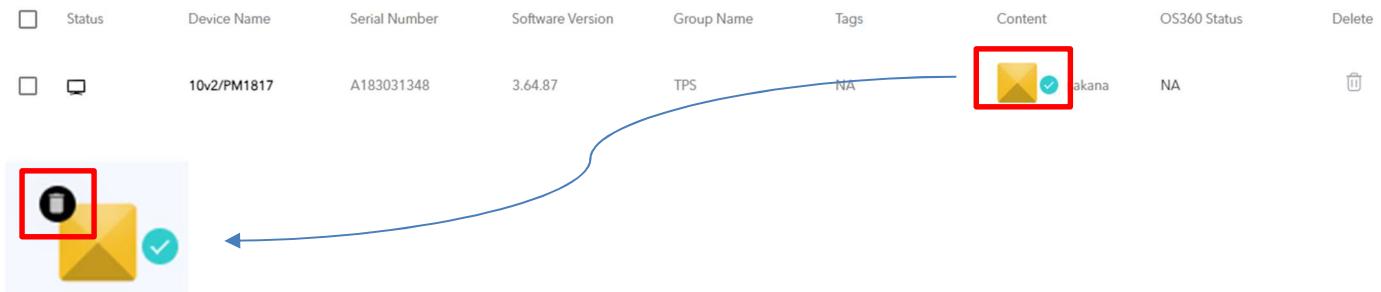
Are you sure you want to delete the scheduled content? This content schedule is currently published on 1 device(s)

 Cancel

Confirm

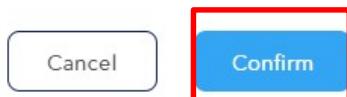
#### 4.3.2 “Single App” モードでのアプリケーション/コンテンツの削除

- 1) デバイスダブをクリックして、デバイスリストが表示されている画面を表示します。
- 2) 削除するコンテンツのアイコン上に、マウスカーソルを移動すると、ごみ箱アイコンが表示されますので、クリックします。



- 3) 以下のように、削除確認のメッセージが表示されますので、「Confirm」をクリックします。

Please confirm you want to delete the content playing on this device



- 4) 「Content」右側の表示が消えていることを確認して終了です。

1 Device

Status	Device Name	Serial Number	Software Version	Group Name	Tags	Content	OS360 Status	Delete
<input type="checkbox"/>	10v2/PM1817	A183031348	3.64.87	TPS	NA		NA	

Add Device +



#### 4.3.3 "Multi App" モードでの"Elo Home"画面へのアプリアイコン表示(インストール)

**備考)** 予め"Single App"モードで、アプリケーションをデバイスにインストールしている場合は、おくほうが早く画面に表示させることができます。

以下は「draw.apk」と「Elo Installed Apps」及び「GMS Apps」を"Elo Home"に表示させる場合の例です。

- まず、Devices タブをクリックし、表示されたメニューの「Settings」タブで、「Edit」を選択し、右下に表示されている「Multiple App Mode」を以下のように有効にします。プリインストールされたアプリも表示する場合は、同時に「Show Stock Apps」も有効に、右上の「Apply」をクリックします。

The screenshot shows the 'Device Details' section of the Elo Home Settings. At the top, there are two toggle switches: 'Multiple App Mode' (disabled) and 'Show Stock Apps' (disabled). Below these, the 'Settings' tab is selected, showing various configuration options. A red box highlights the 'Multiple App Mode' and 'Show Stock Apps' checkboxes in the bottom right corner of the settings grid.

- 「Multiple App Mode」と「Show Stock Apps」が Enabled(有効)であることを確認します。

The screenshot shows the 'GMS Settings' tab selected. On the left, a sidebar lists various configuration categories. On the right, the 'GMS Mode' section is displayed, showing three radio buttons: 'GMS Enabled' (selected), 'GMS Restricted', and 'AOSP'. Below this, a large red box highlights the 'GMS Enabled' radio button and the 'GMS Mode' setting in the 'GMS Settings' section.

4) 「Apps」タブを選択して、「Edit」をクリックし、アプリケーションの選択を可能にします。

Device Details

Device Name: 10/PM2113  
Serial Number: C213A40075  
Software Version: 5.000.029.0041+p  
Site Address: JP

**Edit Apps**

Elo Stock Apps

- Admin Access  Hide/Show
- Advance Peripheral
- Admin Access  Hide/Show
- BarCode Scanner
- Admin Access  Hide/Show
- Browser App
- Admin Access  Hide/Show
- Camera

GMS Apps

- Admin Access  Hide/Show
- Android Auto
- Admin Access  Hide/Show
- Calendar

5) 上から、「Elo Stock Apps」(プリインストール)、「GMS Apps」(Google アプリ)、「Device Installed Apps」(EloView 登録アプリ)の順で、表示されますので、メニューに表示させるアプリを有効にして、右上の「Apply」をクリックして下さい。

以下は、「Camera」、「File Explore」、「Google Drive」と 2 つの EloView 登録アプリを追加した例です。

この時「Admin Access」にチェックを入れると、「Admin」でログイン時にのみアプリケーションが使用可能になりますので、注意して下さい。

**Edit Apps**

Elo Stock Apps

- Admin Access  Hide/Show
- Browser App
- Admin Access  Hide/Show
- Camera
- Admin Access  Hide/Show
- File Explorer
- Admin Access  Hide/Show
- Payment app \*Elo\*

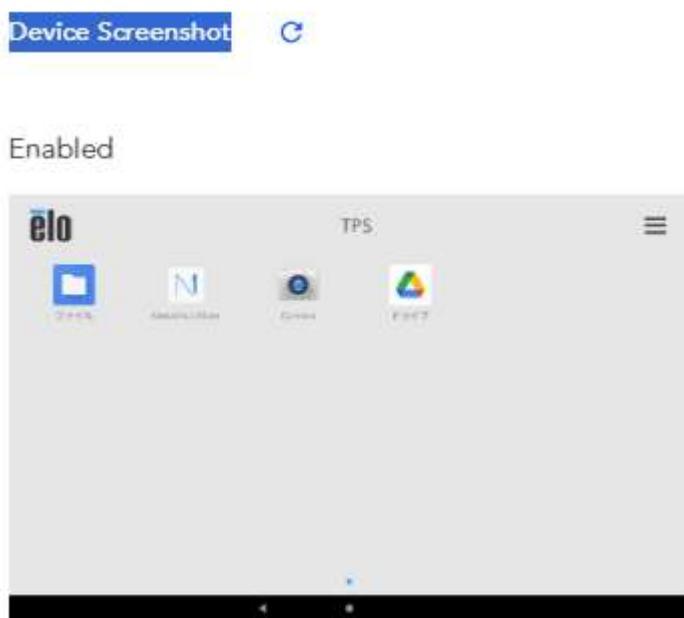
GMS Apps

- Admin Access  Hide/Show
- Google Digital Wellbeing
- Admin Access  Hide/Show
- Google Drive

Device Installed Apps

- Admin Access  Hide/Show  Install  Uninstall
- AlfCam com.ivuu
- Admin Access  Hide/Show  Install  Uninstall
- MetaMoji com.metamoji.noteanytime

6) 「Info」タブで、「Device Screenshot」を有効にすると、以下のように表示メニューが確認できます。



備考)予め"Single App"モードでアプリをデバイスにインストール済のアプリは直ぐにメニューに表示されますが、そうでない場合はインストール後に表示されます。

7) 最後に、デバイスに表示されている画面を確認して終了です。

#### 4.4 Web アプリの設定変更

Web アプリに関しては、登録後に、修正する必要がある場合があります。

- a) ナビゲーションバーなどの非表示(必要に応じて)
- b) WebRTC 対応
- c) Timeout の変更
- d) Timeout 時のアプリデータのクリア
- e) User Agent の変更

1) App Library 内の WEBAPPS タブの登録した Web アプリのアイコンをクリックし、右上に表示される「Edit」を選択する。

Content Library

All APKs WebApps Media Attract Bundle

mamoru	N/A	12/04/2023	
--------	-----	------------	--

Content Details

Content Properties

General

Content Name: mamoru Description: mamoru demo Content Type: WebApp

URL: https://pro.denpyo-kun.com/tps/ URL Type: Web

Content Icon:

Content Deployments Detail

New Task: Disabled

Created Date: 12/04/2023 12:47:39 PM Updated Date: 12/04/2023 12:50:46 PM

Edit

2) 各種設定変更を行う。「Advanced Features」

a) ナビゲーションバー非表示

以下のように、各 Bar のチェックマークを解除する。「Brower Settings」

Advanced Features

Browser Settings

Show Navigation Bar  Show Loading Bar  PDF Support  Action Bar

Home Page Timeout:  
Never

View Mode:  
Form View

Append to URL:  
Select

On Timeout:  
 Clear Cookies  Clear User Data

Web View Type:  
Native

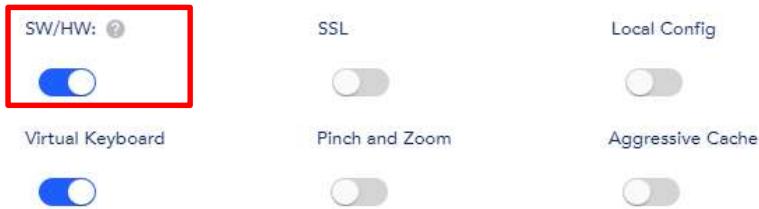
User Agent:  
Default

Mozilla/5.0 (Linux; Android 7.1; EloView 2.0/MSM8953) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko)  
Chrome/54.0.2840.68 Mobile Safari/537.36

Custom URL Extension

b) WebRTC 対応

SW/HW を以下のように Enable に変更する。



c) Timeout の変更

一定時間経過後に、最初に表示される画面に戻すためには、以下の Home Page Timeout を設定する。

Browser Settings

Home Page Timeout:

5 min

d) Timeout 時のアプリデータのクリア

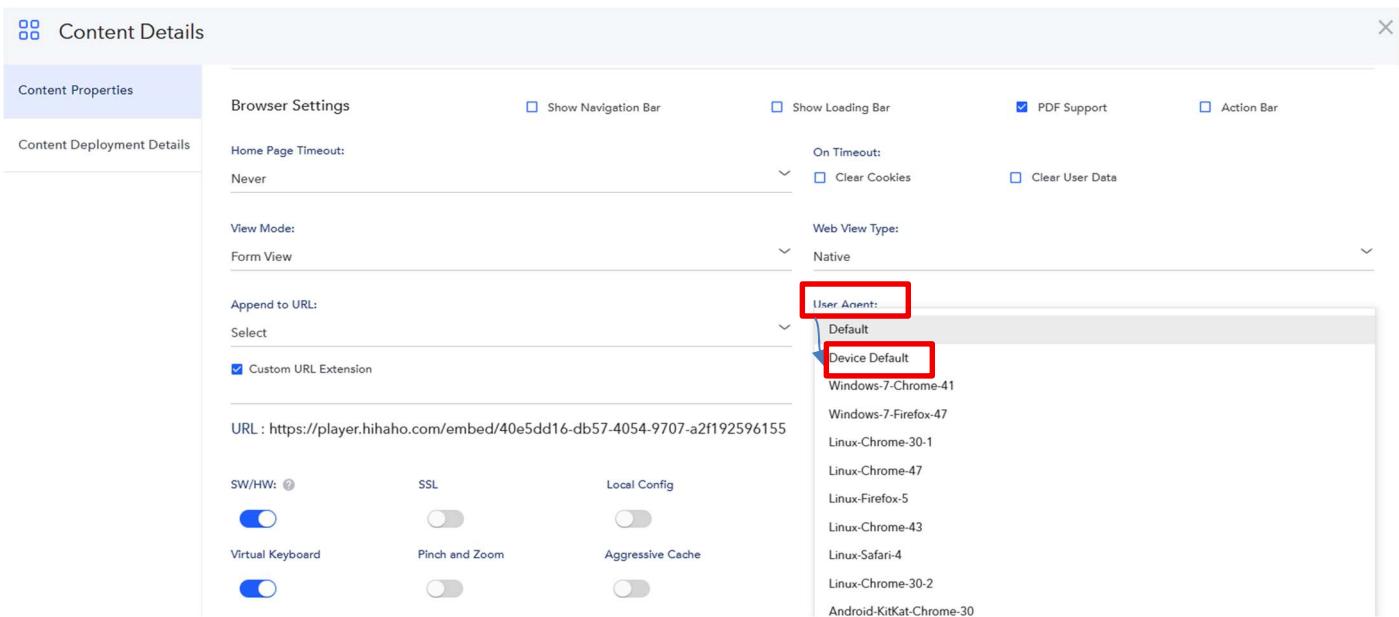
On Timeout:

Clear Cookies

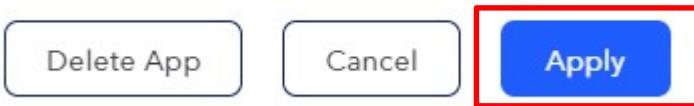
Clear User Data

### e) User Agent の変更

Chrome では発生しなかったエラー(urlへのアクセスができないエラーなど)が EloView で、発生する場合 Use Agent を「Default」から「Device Default」に変更すると改善される場合があります。



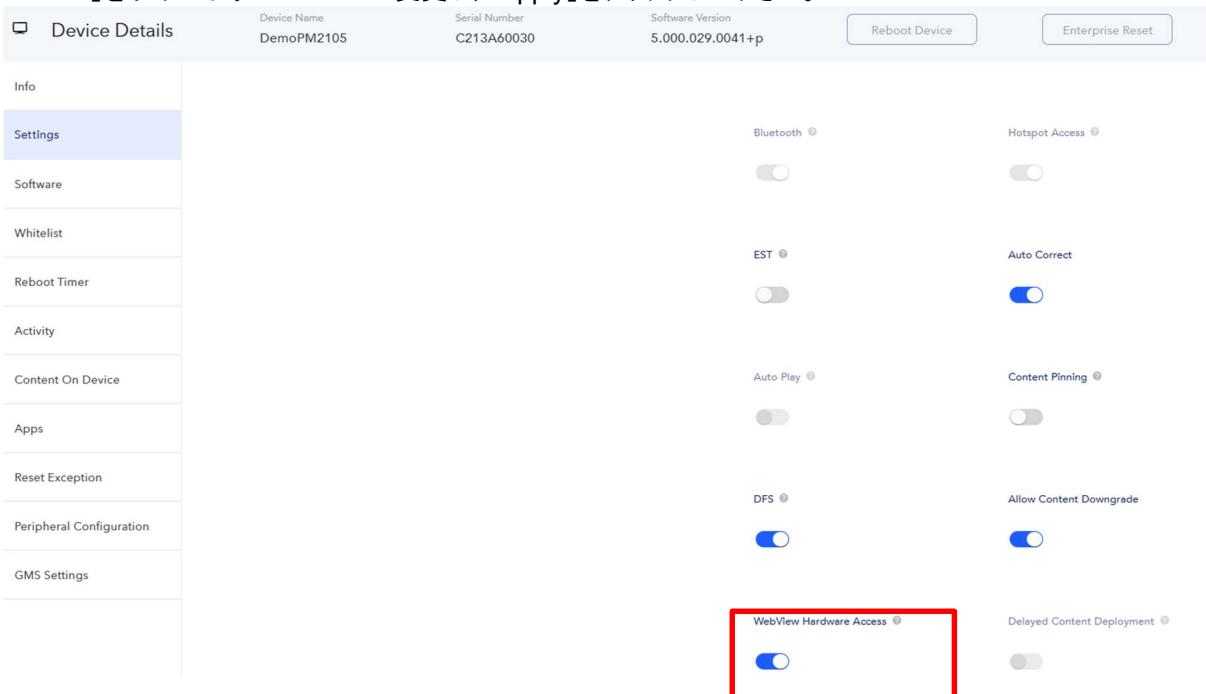
3) 右上の「Apply」をクリックし、変更が終了したメッセージが表示され終了。



更に、Web アプリを使用する場合、「Device Details」あるいは「Account Details」内の「Settings」タブ内の「WebView Hardware Access」設定を Enable にして下さい。

WebView がコンテンツを表示する際に、動作がスムーズになります。

以下は「Device Details」内の設定画面例です。変更する場合は右上の「EDIT」をクリックして、「WebView Hardware Access」を以下のように Enable に変更し、「Apply」をクリックして下さい。



## 5. アプリケーション/コンテンツのスケジュール設定(Schedule)

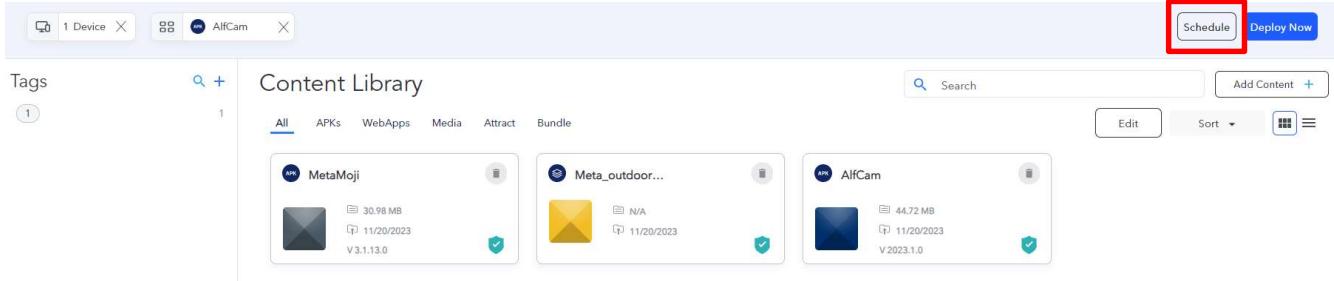
動作させるアプリケーション/コンテンツのスケジュールを EloView で設定しておくことができます。

実行するためには、オンライン状態にしておく必要があります。但し、"Single App"モードでのみ利用可能です。

**注意)このスケジュールの設定後直ぐに、デバイスに反映することができない場合があるので、設定時間の約15分前までには、スケジュール設定を完了して下さい。**

### 5.1 アプリケーション動作スケジュールの作成

- 4.3.1 2)までは、直後にコンテンツをインストール場合と同様に、インストールするデバイスとコンテンツを登録し、右上に表示される「Schedule」を選択します。

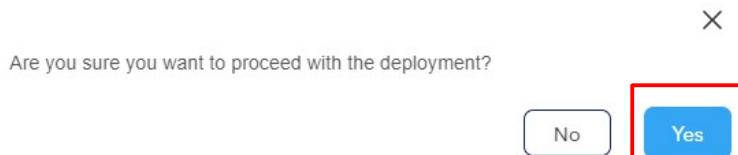


- 表示された画面の左上の「During a Period of Time」を選択すると以下のようにメニューが変更されますので、時間を設定し、右下の「Add To Deployment Package」をクリックします。

3) Deployment Bar 上に、設定されていることを確認後、「Deploy Scheduled」をクリックします。

The screenshot shows the Content Library interface. At the top, there are three tabs: 'Tags' (highlighted with a red box), 'Content Library' (selected), and 'Search'. Below the tabs, there are filters for 'All', 'APKs', 'WebApps', 'Media', 'Attract', and 'Bundle'. A search bar with 'Search' and a 'Clear All' button is on the right. In the main area, there are four items listed: 'MetaMoji' (APK, 30.98 MB, 11/20/2023, V 3.1.13.0), 'Meta\_outdoor...' (APK, N/A, 11/20/2023), 'AlfCam' (APK, 44.72 MB, 11/20/2023, V 2023.1.0), and 'Meta\_camera\_...' (APK, N/A, 11/21/2023). On the far right, there are 'Edit', 'Sort', and a grid icon.

4) 確認メッセージが表示されますので、「Yes」をクリックすると、コンテンツが登録されたメッセージが表示されます。



5) 「Deployment」アイコン をクリックし、「Deployment Packages」のメニューを表示させます。  
「Recent」タブで表示されていますので、「Scheduled」タブを選択します。

The screenshot shows the Deployment Packages interface. On the left is a sidebar with icons for 'Devices', 'Content', 'Schedule', and 'Actions'. The main area has a header 'Deployment Packages' with 'Schedule' and 'Deploy Now' buttons. Below is a table with columns: Status, Devices, Content, Schedule, User, Date/Time, and Actions. Under 'Recent', it shows 'Immediate' status, 1 Device (AlfCam), and N/A schedule. Under 'Actions', there is a 'Deploy Now' button. The 'Scheduled' tab is selected. The table shows one entry: 'Scheduled' status, 1 Device (SpeakerBar), 'W - 10:45 AM → 11:00 AM - Nov 22 → Nov 23' schedule, user MT, date/time 11/22/2023 - 10:33:38 AM, and actions.

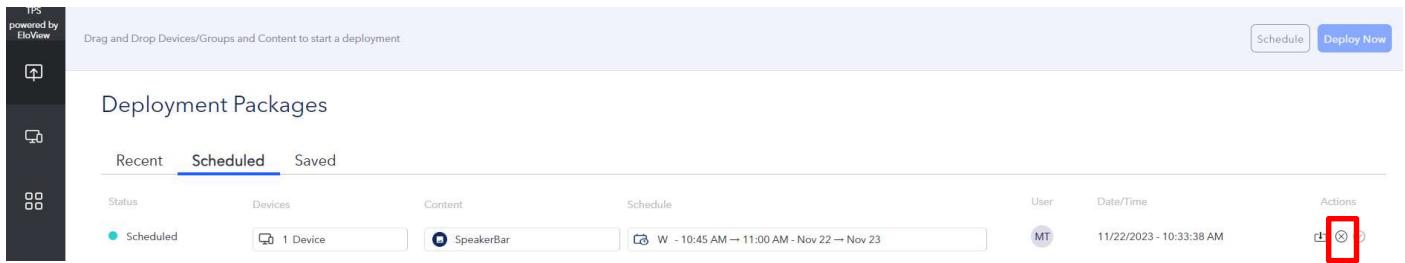
6) 以下のように、登録したコンテンツが表示されていることを確認し終了です。

The screenshot shows the Deployment Packages interface with the 'Scheduled' tab selected. A red box highlights the first row of the table. The table columns are: Status, Devices, Content, Schedule, User, Date/Time, and Actions. The row shows 'Scheduled' status, 1 Device (SpeakerBar), 'W - 10:45 AM → 11:00 AM - Nov 22 → Nov 23' schedule, user MT, date/time 11/22/2023 - 10:33:38 AM, and actions.

詳細を確認したい場合は、上記表示画面の「Devices」、「Content」、「Schedule」をクリックし、それぞれの Details を表示して確認して下さい。

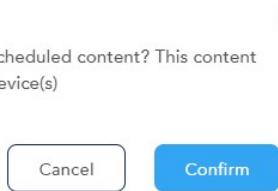
## 5.2 アプリケーション動作スケジュールの削除

- 1) 削除するスケジュールの右の  アイコンをクリックして、Deleteします。

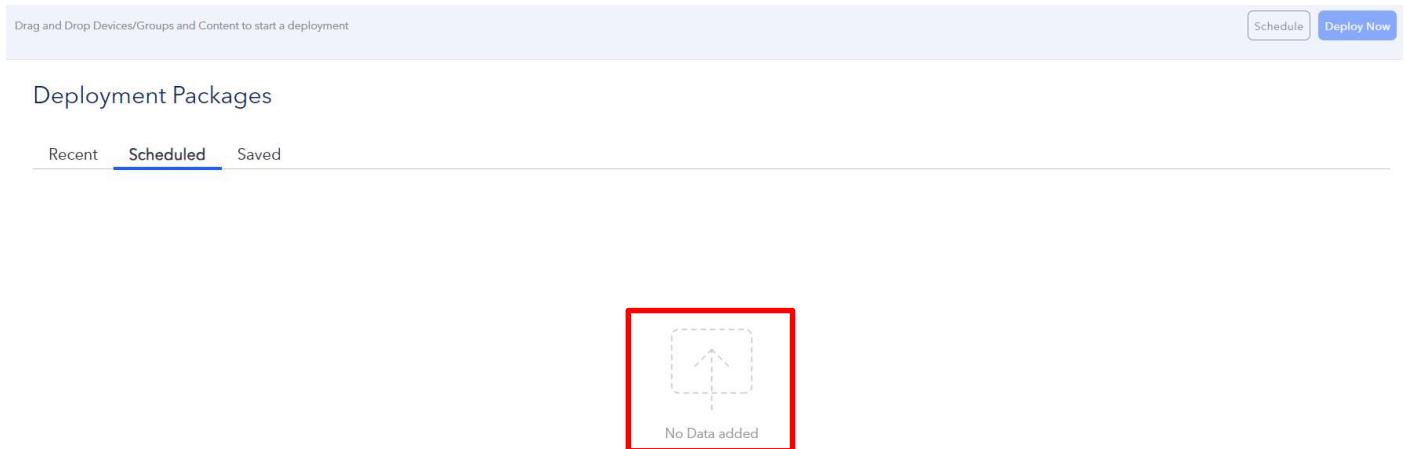


The screenshot shows the Deployment Packages interface. The 'Scheduled' tab is selected. A specific row in the table has its 'Actions' column highlighted with a red box, containing a delete icon (a small X inside a circle).

- 2) 削除の確認の表示がされますので、「Confirm」をクリックします。



- 8) スケジュールが削除されたことを確認し、終了です。



The screenshot shows the Deployment Packages interface again, but this time the 'Scheduled' tab is empty. A large red box highlights the central message: "No Data added".

## 6. ネットワーク要件

EloView を使用するためのネットワーク要件について説明します。

クラウドからデバイスへの完全な EloView 通信を可能にするには、以下の URL をホワイトリストに登録する必要があります。

EloView 4 Domains

URL	Uses
<a href="https://secure-api.eloview.com/prod">https://secure-api.eloview.com/prod</a>	Token API / OTA updates / OS360 Warranty check - outgoing
<a href="https://secure-provisioning.eloview.com/prod">https://secure-provisioning.eloview.com/prod</a>	Provisioning base URL - outgoing
<a href="https://secure-broker.eloview.com">https://secure-broker.eloview.com</a>	MQTT Broker URL
<a href="https://secure-logs.eloview.com">https://secure-logs.eloview.com</a>	Upload logs / OTA build and private content – outgoing/incoming
<a href="https://secure-content.eloview.com">https://secure-content.eloview.com</a>	Content icons on device
<a href="https://secure-auth.eloview.com">https://secure-auth.eloview.com</a>	Oauth login by device

<https://cognito-identity.us-west-2.amazonaws.com/>

<https://cognito-idp.us-west-2.amazonaws.com/>

<https://polaris-promote-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com>

<https://polaris-scan-prod.s3.us-west-2.amazonaws.com>

<eloprod.blob.core.windows.net>

[\\*.1e100.net](*.1e100.net)

[\\*.us-west-2.compute.amazonaws.com](*.us-west-2.compute.amazonaws.com)

TeamViewer を使用される場合は [\\*teamviewer.com](*teamviewer.com)

### 備考

- EloView を使用するためには、ポート 443 によるアクセスと上記 domain “eloview.com”が必要です
- EloView は、時刻補正のために NTP (Network Time Protocol) サーバと通信します。NTP はポート 123 によるアクセスが必要です。
- デバイスとクラウド間の通信に「WebSocket」を使用しています。通信は、デバイスによって開始されます。
- amazonaws.com ドメインへの通信は、proxy をサポートしていません。

## 7. TeamViewer の使用

EloView からの操作で、TeamViewer を使用して、Android デバイスのリモートコントロールができます。

TeamViewer のライセンス(コーポレート、または、Tensor)をお客様が、別途準備する必要があります。

また、ご使用の EloView アカウントで TeamViewer を使用したい旨、弊社まで依頼して頂く必要があります。

その際、EloView のアカウント情報及び Org ID 情報と共に弊社までお問い合わせください。

TeamViewer の使用手順はその際に提示させていただきます。

## 8. PoE アダプタ使用時の対応

PoE アダプタを使用する場合は、省電力で動作させるために、USB の設定がオフになります。

使用するデバイスの「Device Details」を表示し、「Peripheral Configuration」タブを選択し、使用する USB を Enable にしてください。

注意)以下はすべてが Enable の状態の例です。

The screenshot shows the 'Device Details' page for a device with serial number C213A40075. The 'Peripheral Configuration' tab is selected. On the left, there's a sidebar with various settings like Info, Settings, Software, Whitelist, Reboot Timer, Activity, Contents On Device, Apps, Reset Exception, Peripheral Configuration (which is selected), and GMS Settings. The main area shows a hardware diagram of a monitor with 6 USB ports. To the right, a list shows the status of each port: USB 01, USB 02, USB 03, USB 04, USB 05, and USB 06, all listed as 'Enabled'. There are 'CSV' and 'Edit' buttons at the top right.

USB Port	Status
USB 01	Enabled
USB 02	Enabled
USB 03	Enabled
USB 04	Enabled
USB 05	Enabled
USB 06	Enabled

以上